

上田市次世代育成支援後期行動計画

平成25年度進捗状況

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組		
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	1	新生児訪問 (乳児家庭全戸訪問事業)	○市内で出生した生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、保健師・助産師が家庭訪問を行う ○児の発育状況、産婦の体調、養育環境などの把握や助言、子育て支援情報を提供する	生後4ヶ月未満児及び産婦	上田	健康推進課	・新生児訪問 1237件 ・産婦訪問 1228件	2,660	2,661	・継続		
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)		4	51			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)		0	54			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)		0	0			
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	2	養育支援訪問事業 (産褥支援)実施	○育児支援家庭訪問事業の実施 子育てに対して不安や孤立感等を抱えるなど養育支援が必要な家庭に対して支援を行う者を派遣する。	妊娠前から継続的な支援を必要とする者	上田	子育て・子育て支援課	・生後4か月までの全戸訪問事業を実施し、養育者・家庭環境等から支援が必要と思われる家庭に家事・育児支援をしながら養育者を支え、養育状況を見守る訪問支援員を派遣。平成25年度は対象家庭がなかったので未実施。その他、特に支援が必要な家庭へ技術的援助として専門職(保健師)が、訪問支援を実施した。	0	364	・特に子育ての困難さが伴うハイリスク家庭を対象としていることから、緊急時の運用として活用されているが、利用判断が難しい。健康推進課と連携を図りながら、必要な家庭にタイミング良く支援ができるようにしていかなければならない。		
					丸子						上田地区 114人 丸子地区 31人 真田地区 14人 武石地区 0人	
					真田							
					武石							
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	3	ファミリー・サポート・センター事業 (特定事業)	○子育ての援助をしてほしい会員と、援助を行う会員を募集、組織して、センターが援助の仲介を行う。 ○ファミリー・サポート・センターの充実 【平成20年度】【平成26年度】 1か所 → 1か所 会員691人 → 会員800人 (年間1,866件) (年間3,000件)以上	市内在住又は勤務で概ね3ヶ月から12歳までの子どもをお持ちの方	上田	子育て・子育て支援課	・上田市社会福祉協議会へ事業委託(1か所) 年間活動件数1254件 全体会員数808人	4,223	4,424	・会員数の増加を図る。		
					丸子							
					真田							
					武石							
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	4	出産育児支援室(ゆりかご)	○核家族等の理由により、産褥期に家庭で子育て等の支援をうけることが困難な母親に対して、子育て支援施設「ゆりかご」で支援を行う。	新生児とその母親	上田	子育て・子育て支援課	・利用者:25人 ・利用日数:209日	4,848	4,599	・潜在的なニーズがあると思われるので、周知を図りたい。		
					丸子							
					真田							
					武石							
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	5	一時預かり事業 (特定事業)	○保護者の就労形態や傷病、育児疲れの解消などのため緊急・一時的に実施される保育 ・一時預かり実施園の拡大 【平成21年度】【平成26年度】 18園 → 21園	生後6ヶ月以上で就学前の未就園児	上田	保育課	・公立保育園10園、私立保育園7園 合計17園で実施 ・利用者数(公立10園合計) 3歳以上児 1,960人 3歳未満児 5074人 合計 7,034人	・歳出(私立7園へ補助) 6,457	・歳出(私立7園へ補助) 7,910	・一時預かりの利用状況、利用する人の住所を把握し、一時預かり実施園を見直す。		
					丸子						・歳入(補助金) 3,150	・歳入(補助金) 3,995
					真田						・歳入(利用料) 12,358	・歳入(利用料) 11,110
					武石							
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	6	子育て短期支援事業 (ショートステイ事業) (特定事業)	○保護者の就労や疾病等により、一時的に家庭で養育することが困難になった児童に対して、乳児院、児童養護施設等でショートステイ(宿泊型一時保育)を行う。 【平成21年度】【平成26年度】 3か所 → 3か所	16歳未満の児童	上田	子育て・子育て支援課	・施設2か所で実施 ・2歳未満児 延1人 延1泊 ・2歳以上児 延1人 延1泊	16	315	・児童虐待の予防のためのショートステイも含めて支援を実施。		
					丸子							
					真田							
					武石							

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	7	放課後児童健全育成事業 (特定事業)	○放課後児童クラブ(児童クラブ・学童保育所)、児童館・児童センターの運営。 ・要支援児童等の受け入れ体制の充実。 ・就学前児童の子育て支援事業への協力。(ひろば事業:7か所) ・地域における子育て支援推進。 ・放課後児童クラブ:老朽化・狭隘化施設の移転。	小学生	上田	学校教育課	【放課後児童クラブ 市内全4地区】 26か所実施 登録者2,243人 【上田地域】 ・児童館・児童センター8館、延べ利用児童数 71,282人 ・児童クラブ12か所、登録児童数1,276人、延べ利用児童数114,219人 ・学童保育所5か所、登録児童数249人、延べ利用児童数46,682人 ・児童館センター3館(大星、神科、東塩田)、児童クラブ2施設(清明、中塩田)では、子育てひろばに施設を開放 【丸子地域】 ・児童館1館、延べ利用児童数945人 ・児童クラブ4か所、登録児童数 437人、延べ利用児童数32,318人 【真田地域】 ・児童館1館、延べ利用児童数1,152人 ・児童クラブ4か所、登録児童数 246人、延べ利用児童数17,064人 ・真田児童館では、子育てひろばに施設を開放 【武石地域】 ・児童館1館、延べ利用児童数14,641人 ・学童保育所1か所、登録児童数 35人、延べ利用児童数6,847人 ・武石児童館では、子育てひろばに施設を開放	280,997	290,990	・要支援児童の受入体制の充実。 ・老朽化、狭隘化した施設への対応。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	8	地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター) (特定事業)	○子育て家庭の支援活動の企画・調整・実施を担当する職員を配置し、あそびの広場の開催、育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを行う。 ①常設あそびの広場 おむね3歳未満の子どもとその保護者同士の交流の場。 ②わんぱくパーク おむね3歳未満の子どもとその保護者を対象とした戸外での遊びの広場。 ③わくわく広場 親子あそびを通し、親子関係や子どもの発達を促すための支援を行う。「年4コース(1コース6回)」 ④バンビの会(ママのおしゃべり会) 親同士の交流を行うことで、育児中 ⑤子育てに関する情報発信 ⑥子育てに関する相談事業	概ね3歳未満の子どもとその親	上田	子育て・子育て支援課	① 常設遊びの広場 ・中央 48,797人、神科 4,397人、泉田 7,594人 * 常設以外の遊びの広場 ・塩田(中塩田児童クラブ) 2,426人 ・神川地区公民館ひろば 535人 ② わんぱくパーク(中央・塩田) 114人 ③ わくわく広場 ・中央 304人、神科 299人、泉田 273人 ④ おしゃべり会(バンビの会) ・泉田 70人 ⑤ 子育て支援センター通信・園開放情報の発行及びHP上にPDF版の紙面を掲載し情報提供 ⑥ 相談事業 ・中央 583 神科128 泉田 335 塩田102	3,465	2,600	・継続して実施する。
					丸子 武石		① 常設遊びの広場 ・中丸子 6,510人 * 常設以外の遊びの広場 ・西内 1,551人 長瀬市民センターひろば 130人 ②わんぱくパーク(武石) 8人 ③わくわく広場 246人 ⑥相談事業 中丸子 101件、西内 251件			
					真田		① 常設遊びの広場 ・真田 3,117人 ★常設以外の遊びの広場 ・真田児童館 45人 ⑥相談事業 181件			

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	9	地域子育て支援拠点事業(ひろば型・児童館型) (特定事業)	①子育て親子の交流の場の提供と促進 ②子育て等に関する相談、援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習会の実施 ・清明児童クラブ(月・水・金:5時間) ・丸子子育てサロン(月・水・金:5時間) ・大星児童センター(火・木・金:3時間) ・神科児童センター(火・水・木:3時間) ・東塩田児童センター(月・火・水:3時間) ・武石児童館(月・火・金:3時間)	概ね3歳未満の子どもとその親	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・市内6箇所で実施 ・清明 2,086人 ・丸子 4,565人 ・大星 2,216人 ・神科 2,395人 ・東塩田 2,496人 ・武石 2,771人	8,684	8,107	・継続して実施する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	子育て支援に関する情報提供と他課との連携	○子育てに関する情報提供 ・赤ちゃん手帳配布による上田市の子育て情報と育児の基本情報の掲載 ・他課との連携 子育て情報リーフレットコーナーの設置	概ね3歳未満の子どもとその親	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・赤ちゃん手帳の配布 全出生児及び3歳以下の上田市転入者 ・他課との連携 子育て情報リーフレットコーナーの設置(上田市健康プラザ内、市民等)	535	652	・継続
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	10	親子交流(ゆうゆうほっとる一む)	○利用しやすい環境をつくることにより、親子同士の情報交換や仲間作りの場を提供する。	子育て中の親子	上田 丸子 真田 武石	人権男女共同参画課	・ゆうゆうほっとる一む…毎週(金)開放日	0	0	・市民プラザ・ゆうの特性が伝わるようなPRをしていく必要がある。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	子育て応援講座	○子育て応援講座。	子育て中の親	上田 丸子 真田 武石	人権男女共同参画課	・子育て応援講座6講座開催(親子で楽しむチョークアート、つるつる!ピカピカ!カラフル!どろだんご作り、母と娘の月経教室、お母さんのための男の子からだ教室、ちいおばさんのがらくた座人形劇、ワーキング・ママのメルボルン子育て事情) 延599名参加 ・新春コンサート開催 150名参加	174	174	・第2次上田市男女共同参画計画に基づき内容を検討していく。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	子どもの健康づくり事業の拠点	○妊婦から乳幼児期の子どもに関する保健事業を行う(各地域保健センターの利用者)	0歳から小学校就学前の子どもとその親	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・上田保健センター利用人数12,453人 ・保健センター利用人数5,404人 ・保健センター利用人数1548人 ・健康センター利用人数208人			・継続
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	11	あそびの教室と自由あそびの日の開催 NO.218 「発達支援教室」において実施	○入園前の親子等を対象に、親子や仲間との関わりを豊かにするための教室を開催する ○発達支援が必要な親子のフォローと適正療育に関する支援	0歳から3歳頃までの子ども	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・年12回開催、参加親子人数304人	N0218へ	N0218へ	

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	12	育児110番	○子育てに関する電話相談の常設 (スタッフ 保健師・助産師・管理栄養士等)	妊産婦と0歳から学童期の子ども の保護者	上田	健康推進課	・相談件数 196件	0	0	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	13	健康相談	○子育てに関する健康相談	妊産婦及び0歳から3歳頃の子 どもとその保護者	上田	健康推進課	・相談件数 2608人	0	0	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	14	母乳育児相談	○妊娠中から子育て中における助産師による母乳 (ひとまちげんき健康プラザうえだにて専用相談 室を設置している)	妊産婦及び0歳から3歳 頃の子ども とその保護者	上田	健康推進課	・母乳妊婦相談 490回 来所実人数2247人(全地域) 電話相談95件	2,400	2,406	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	15	親子の食事に関する相談	○管理栄養士による相談・指導	妊産婦及び0歳から3歳 頃の子ども とその保護者	上田	健康推進課	・乳幼児健診 集団4934人人 個別713人 ・食事相談536人	No.70に含	No.70に含	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	16	歯の相談	○口腔衛生に関する相談、歯科指導	妊婦及び0歳から3歳 乳幼児期の の子どもと その保護者	上田	健康推進課	両親学級 129人 4か月児健診 1232人 10か月児健診 1038人 おたんじょう教室 967人 1歳6か月児健診 1198人 2歳児健診 1019人 3歳児健診 1509人 保育園幼稚園巡回歯科指導 3577人	160 (NO63・ 70に含 まれる部 分除)	160	・継続
					丸子	丸子健康福祉課				
					真田	真田健康福祉課				
					武石	武石健康福祉課				
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	17	教育相談	○「学校に行きたがらない」、「学校生活での心配」 等子どものさまざまな問題を共に考え助言・指導す る。	小中学生及 び保護者	上田	学校教育課	相談件数(4地域) ・教育相談所 1,088件 ・心の教室相談員 15,845件 ・ふれあい教室 401件	* 不登校 対策及び 心の教室 相談員 (事業番 号 109.110) の欄に記 載)	* 不登校 対策及び 心の教室 相談員 (事業番 号 109.110) の欄に記 載)	・学校、教職員、保護者等との一層の連 携。 ・相談業務を行う民間団体との連携。
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	18	チャイルドライン事業支援	○子ども専用の相談電話開設のために、民間の人達を中心とした子どもの悩み相談研究会を立ち上げ、研究会を開催し検討をした結果、18年度10月からチャイルドラインうえだを開設。	18歳までの子ども	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・受付件数 4,338件 うち相談成立 1,964件 ・活動を支える「担い手養成講座」開催の広報協力。	0	0	・チャイルドライン活動の広報について、市広報等により協力する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	19	ポルトガル語等による広報紙の発行	○広報掲載内容のうち、乳幼児健診・予防接種など子育てに必要な情報をポルトガル語と中国語に翻訳し、配布する。	子どもを持つ親を対象	上田 丸子 真田 武石	市民課	・ポルトガル語(毎月)、中国語(隔月)の広報誌を発行。乳幼児健診・予防接種に関して「保健ごよみ」を翻訳したほか、必要に応じて保護者との通訳を行った。また、小中学校の求めに応じて、学校関係から家庭へのお知らせ等の翻訳を行った。	338	350	・継続して実施する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	20	市民課における専門窓口の設置	○市民課にバイリンガル職員を配置し、ポルトガル語、スペイン語、中国語の相談に対応。	子どもとその親	上田 丸子 真田 武石	市民課	・ポルトガル語(スペイン語)への対応として、任期付職員に加えて非常勤職員を配置した。	1,846	2,456	・継続して実施する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	21	上田市子育て支援策パンフレットの作成	○転入者や子育て家庭に配布するためパンフレットを作成。(8,000部) 配付先: 保育園、幼稚園、新生児の親等。	子育て家庭	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課 健康推進課	・幼稚園・保育園の在籍園児家庭への配布と子育て関連施設への配置をした。	80	80	・継続実施
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	22	家庭通信学級(子育て家庭通信)	○子どもの出生から3歳まで毎月1通、総計36通にわたってハガキで子育てについての情報を提供する育児学習通信。	0歳から3歳までの子どもがいる家庭	上田 丸子 真田 武石	中央公民館	・11,538通	641		・質問には答えられる範囲で電話・手紙で答える。 ・ハガキの編集
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	23	子ども情報誌「YAつHOー」	○完全学校週5日制をきっかけとして、体験学習の機会を得るための情報を市内の全小中学生に提供する情報誌を発行する。(年3回)	小中学生	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・年3回(6月、10月、2月)、各17,000部発行し、小中学生全員と幼稚園・保育園等に配布。	1,047	1,072	・公民館、青少年団体等で実施する体験学習事業等について、幅広く情報を収集し、情報誌に掲載する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組	
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	24	ホームページ	○子どもに関する事業等を掲載する。	市民	上田	全課	・随時掲載。	0	0	・継続して実施する。	
					丸子						
					真田						
					武石						
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	25	広報	○子どもに関する事業等を掲載する。	市民	上田	全課	・随時掲載。 ・子育てメール配信サービス開始(平成25年3月)	0	0	・継続して実施する。	
					丸子						
					真田						
					武石						
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	26	次世代育成支援対策地域協議会	○地方公共団体、事業主、住民その他の次世代育成支援対策の推進を図るための活動を行う者からなる次世代育成支援対策地域協議会を組織し、地域における次世代育成支援の推進に必要なべき措置について協議する。	全市民	上田	子育て・子育て支援課	協議会開催(2回) 平成25年7月16日、10月21日	85	0	・次世代育成支援対策法の改正により、自治体における行動計画の策定については、必須から任意の位置付けとなった。現在の後期行動計画の終了は平成26年度であることから、重要な事項については、現在策定する子ども・子育て支援事業計画に引継ぐ予定である。 ・平成26年度は開催予定なし。	
					丸子						
					真田						
					武石						
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	27	ながの子育家庭優待パスポート事業	○子育て家庭に対して、地位の企業、店舗、施設が各種サービスを提供することにより、子育て家庭を地域で支える気運を醸成する。	全市民	上田	子育て・子育て支援課	・市内事業協賛店舗数(合計219店) 新規協賛13店舗 ・パスポートカードの有効期限到来(平成26年3月末)に対応し、新しい有効期限(平成30年3月末まで)を記載したものに一斉切り替えを実施(15,093通発送)。	2,233	0	・協賛店舗の増加のめた各種団体等との協力を図る。	
					丸子						
					真田						
					武石						
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	28	情報の提供	○広報やメディアに男女が共に参画できる社会実現のため啓発記事を掲載。	全市民	上田	人権男女共同参画課	・広報うえだ2回掲載 ・第2次上田市男女共同参画計画ダイジェスト版の作成・配布 ・成人式用パンフレット「愛ってなに」の作成・配布 ・女性相談員によるなんでも相談の案内カード作成・配布	176	176	・第2次上田市男女共同参画計画に基づき、内容を検討。	
					丸子						丸子市民生活課
					真田						真田市民生活課
					武石						武石市民生活課
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	29	保育士の資質の向上	○研修計画に基づく保育士研修の実施や研修内容の充実、公開保育などの保育研究の実施	保育士	上田	保育課	・上田市保育園連盟と連携して、計画的に研修会等を開催し、保育士の資質の向上を図りました。 ① 公開保育: 神科第1保育園にて実施 ② 夏期研修会: 8月10日(土)開催 参加者数: 450人 ③ 保育研究委員会: 6グループによるテーマ別の保育研究を進めた。 ④ 講演会(6回開催) ⑤ 県及び幼年教育研究会の研修会に参加	歳出(上田市保育園連盟負担金) 1,481	歳出(上田市保育園連盟負担金) 1,482	・質の高い保育を提供するため、引き続き、上田市保育園連盟と連携して、計画的に研修会等を開催するほか、県や幼年教育研究会の研修会を通して、保育士の資質向上を図ります。	
					丸子						
					真田						
					武石						

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	30	保育サービスの充実	①電話等による、子育てに関する質問や悩み事の相談 ・子育ての悩み等の相談事業の強化 ・相談に応じる育児支援体制の整備 ・地域の子育て中の親が子育て情報を保育園で得ることができるための取り組みの強化 ②園開放・地域支援活動事業の拡大 ・保育園・幼稚園での異年齢交流の推進 ・保育園が在園児の保育と同様に在宅の乳幼児を対象とした体験事業等の実施 ・家庭教育向上の支援として、保育園で育児情報を得ることができるための事業の実施	0歳から小学校就学前までの乳幼児の保護者	上田 丸子 真田 武石		①電話等による子育てについての相談は公立保育園31園 私立保育園10園 公立幼稚園2園において実施 ②公立保育園31園、私立保育園9園にて実施	・歳出(公立) 3,034 (私立へ補助) 1,677	・歳出(公立) 3,349 (私立へ補助) 2,000	・地域に開かれた事業として、各種取組を継続する。
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	31	保育施設の整備	○保育施設の計画的な改築を進め、保育環境の一層の整備を図る。 ・小泉・泉田保育園の統合園整備【平成22年】 ・公立保育園の統廃合	保育園児	上田 丸子 真田 武石	保育課	神科第一保育園改築整備 ・用地買収 ・開発書類作成委託、実施設計委託 ・敷地造成工事	歳出 97,364	449,090	・引き続き、保育施設の改築、統廃合を進め、保育環境の充実を図っていく。
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	32	通常保育事業 (特定事業)	○日中、家庭での保育に欠ける児童について、保育所で保育を行う。 現在公立31園、私立10園 ・3歳児未満児 【平成21年度】919人→【平成26年度】805人 ・3歳児以上児 【平成21年度】2,881人→【平成26年度】2,520人	0歳から小学校就学前までの乳幼児	上田 丸子 真田 武石	保育課	・公立保育園31園 私立保育園10園、公立幼稚園2園において児童の保育を実施。 ・【平成25年度】 3歳児未満児(登録人数) 1,087人 3歳児以上児(登録人数) 2,732人			・未満児保育のニーズが高まっていることから、今後も受け入れの拡大を図っていく。
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	33	延長保育事業 (特定事業)	○保護者の就労形態の多様化に伴う長時間保育のニーズに対応し、通常の保育時間(平日8:30～16:30、土曜日8:30～12:30)を超え、11時間の保育の受け入れを実施する。 【平成21年度】 21園454人 → 【平成26年度】 26園1,108人	市立保育所に入所している児童	上田 丸子 真田 武石	保育課	・【平成25年度】(登録人数) 23園 1,126人 ・公立保育園13園、私立保育園10園で実施			・延長保育の利用者数や利用時間帯を把握し、延長時間の短縮・拡張を検討する。
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	34	休日保育事業 (特定事業)	○就労形態の多様化に伴う日曜・祝日等の保護者の就労等により、家庭で保育することができない児童に対する保育 【平成21年度】3園70人→【平成26年度】4園109人	市内の認可保育所に通園している1歳以上の児童	上田 丸子 真田 武石	保育課	・【平成25年度】 (登録利用) 3園32人 (緊急利用) 3園32人	・歳入(補助金) 2,723 ・歳入(利用料) 158	・歳入(補助金) 2,674 ・歳入(利用料) 161	・休日保育の利用状況を把握し、実施園や受入数について検討を行っていく。
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	35	病児・病後児保育事業 (特定事業)	○生後約6ヶ月から小学校3年生までを対象に、上田病院で病児・病後児保育を実施する。 【平成21年度】1ヶ所→【平成26年度】2ヶ所	生後6ヶ月から小学校3年生まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	【平成25年度】1ヶ所 ・病児保育センター(上田病院へ委託)で病児・病後児保育を実施。 登録者数:964人 利用者数:558人(延べ) 病児:558人、病後児:0人	10,642	10,642	・継続して実施する。 ・定住自立圏形成協定を締結により長和町・青木村への周知する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	36	障害児巡回指導事業	○保育士の指導及び保護者の相談 ○公私立保育園の発達が気になる子どもへの理解と対応について、専門機関による巡回支援・指導	保育士、園児の保護者	上田 丸子 真田 武石	保育課	・公・私立保育園及び公立幼稚園の年間巡回指導回数:56回(439人)	0	0	・対象園児が増加傾向にあり複数回の巡回を希望する園が増えてきている。昨年度に比べ私立保育園の巡回希望が増え、巡回指導の専門員の充実が課題。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	37	子育て家族応援事業	○子育て支援を行うことを目的とする市民団体と協働 ・子育て家族応援事業、サークル支援事業、ふぁみりーチャレンジランド事業、父親の育児参加支援事業、企業向け出前講座の実施 ○子育て支援に関するグループ、NPOの組織化の支援 ○子育て支援に関する団体の自主活動促進のための情報提供及び支援 ○子育て支援に関する「ボランティア活動」への支援	市民	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・保育園幼稚園情報講座 1回 55人 ・サークル支援事業 14回 691人 ・ふぁみりーチャレンジランド事業 3回 138人(4回中1回雪のため中止) ・わんぱくパーク 5回 121人 ・わくわくファミリーフェスタ 1023人 ・ステキなパパになりたい人のための講座 4回 172人(5回中1回は雪のため中止)	500	500	・実行委員会による事業の推進を継続する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	38	スマイルママネットUEDA	○約20の子育てサークルが所属する連絡会議を通じ、子育てサークルの活動支援を行う。わくわくファミリーフェスタ開催。 ・子育て支援関係団体等やNPOとの連携 ・子育てを巡る関係者が連携をして子育て支援を行う体制整備 ○関係機関による会議の開催・情報交換。	市民	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・連絡会年7回開催(20サークル参加)	0	0	・講座等の周知のため、子育て中の親子が集まる場所へチラシを掲示する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	39	かるがもひろばの実施	○家庭教育セミナー:子育てに悩みや疑問を持つ母親を対象に連続講座を開催。 ○お母さんのためのレベルアップ講座:子育ての身近なテーマについて学ぶ。 ○子育て教養講座・家庭教育充実講座・子育て応援講座。	0歳から3歳までの子どもとその親	真田	真田中央公民館	・かるがもひろば 11回22組の親子	202	202	・継続。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	40	本を通じての子育て支援	○絵本講演会の開催(隔年) 子どもと本の橋渡しをし、子どもの心の成長を支援する。	未就学	上田 丸子 真田 武石	上田図書館				・事業終了。
		事業終了								

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	41	読み聞かせ会・おはなし会の開催	〇おはなし会や読み聞かせの会を定期的に行い、幅広く本に親しむ機会を提供する。	0歳から12歳まで	上田	上田図書館 創造館分室 上田情報ライブラリー	・おはなし会、読み聞かせ会等の開催(創造館分室含)年46回開催、延べ参加人数667人 ★内訳(詳細) ・おはなしと本の会 年20回実施。延べ参加者数326人。(上田図書館・創造館分室) ・手づくり絵本とパネルシアター 年3回実施。延べ参加者数25人。(上田図書館) ・おはなし会 年23回開催 延べ参加者数316人(情報ライブラリー)	60	60	・広報活動の充実を図る。 ・おはなし会の内容にバリエーションを持たせ、初めて参加した方にも毎回参加していただいている方にも、楽しんでいただけるように工夫を重ねる。
						丸子 丸子図書館	・おはなし会 年11回開催 延べ参加人数496人 ・2歳児歯科検診時絵本の読み聞かせ 年6回開催 延べ参加人数144人	0	0	・マンネリ化しないような企画をボランティアと共に計画していく。 ・PR方法を幅広くする。
						真田 真田図書館	・おはなし広場(サポーター) 年11回開催 延べ参加人数321人 ・おはなし会(職員) 6回開催 延べ参加人数72人 ・1歳児健診時読み聞かせ 年6回開催 延べ参加人数122人	10	0	・真田図書館サポーターの会との協働により、内容、広報活動の充実を図る。
						武石 武石地域教育事務所				
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	42	親子映画会		小学生及び保護者	武石	武石公民館				
		No.43 「各種体験教室等」において実施								

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	43	各種体験教室等 (公民館における青少年育成事業)	○親子里山講座:身近な自然に触れる機会を提供し、里山の活かし方や、整備、保全など考える。 ○炭焼き体験教室:炭焼き釜で、炭焼き体験を行う。 ○工作教室:山の自然木でトンボ作り等と廃材利用の凧作り等を実施。 ○子ども探検隊:「土地を知り、その地に思いを残す子」にするために実施・夏休み野外教室・親子学習教室。 ○夏休み中等における体験講座。 ○自然とのふれあい体験事業の拡大。	小中学生	上田	西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館	(西部) ・小学生自然体験教室「里山で自然遊び体験」128人 ・中学生(二中・三中)によるパソコン指導補助ボランティア事業:延べ10人 (城南) ・ものづくり教室:1回11人 ・子ども将棋大会:2回開催延べ39人 ・子ども映画大会:1回230人 ・親子クッキング教室2回25人 (上野が丘) ・子ども映画会281人(53千円) ・水生生物観察講座9人(8千円) ・春休み子どもクラフト教室22人(12千円) ・夏休み上野が丘わいわい塾(4日間)94人(246千円) (塩田) ・夏休み川遊びin神川30人(0千円) ・ふるさと再発見ツアー21人(0千円) ・夏休み学習室開放:延べ16日 120人(0千円) ・鮭を訪ねて日本海バスツアー18人(8千円) ・スノーシューで遊ぼう、冬の探検隊17人(0千円) ・宮澤賢治の世界にふれよう20人(8千円) ・ものづくり教室in長野県工科短期大学校23人(0千円) ・子ども映画会45人(35千円) (川西) ・夏の川西こども広場(3日間)22人 (いかだ乗り、川西の鉱物・化石探検、キッズ工作教室) ・冬の川西こども広場(1日間)24人 (昔ながらのお正月あそび、書道教室(書初め)) ・春の川西こども広場(お楽しみ映画会)106人 ・親子自然観察会15人	西部 40 城南 97 上野が丘 319 塩田 51 川西 119		・継続して実施する。
					丸子	丸子公民館	・ひびきあい教室6講座(年間10回)60人 ・夏休み親子ひびきあい教室3講座45人 ・体験塾4回131人	1044	1,044	○継続して実施する。 ・ひびきあい教室6教室10回開設。 ・夏休みひびきあい教室開設。 ・体験塾4回開設。
					真田	真田中央公民館	・わんぱく木工塾教室6回 参加者25人	96	96	・内容の一部と名称を変更して実施する。
					武石	武石公民館	・レッツちゃれんじ2回35人 ・映画鑑賞2回175人 ・魚のつかみ取り100人 ・書道教室25回200人	委託料470	470	・継続して実施する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	44	青少年育成関係団体連絡会	○自治会長、分館長、民生児童委員、少年補導員、子ども会育成会、小中PTA、保育園保護者会、学校長、保育園長等の青少年関係団体が集まり、青少年育成について協議する。	市民	上田	西部公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館	(上野が丘) ・青少年育成推進連絡会議3回 (塩田) ・塩田地区青少年育成関係団体連絡会3回 242人 (川西) ・青少年育成関係団体連絡会3回 73人	0		・継続して実施する。
					丸子	丸子公民館	・丸子地域少年補導委員会を開催し、地域内の小・中・高校の現状報告と懇談。	0		・関係団体、地域との情報交換を図り、情報を共有すること。
					真田	真田中央公民館	・青少年健全育成推進会議開催1回	99	273	・関係団体、地域との情報交換を図り、情報を共有すること。
					武石	武石公民館	・武石地域青少年育成連絡協議会を開催し、地域内の小・中学校から生徒指導についての現状報告、武石駐在所からは少年補導の実態についての報告等受け、懇談。 ・地域内イベント時のパトロール実施	0	0	・小中学校、関係団体、地域との情報交換を図り、情報を共有すること。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	45	上田青少年問題協議会	○青少年育成のための施策を協議するための会議を開催。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・開催せず	0	114	・25年度中は未開催。全市民的な課題発生時に開催する方針としている。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	46	公民館事業 (青少年育成推進大会) (青少年育成自治会懇談会)	○青少年対象の各種公民館事業を通じ、青少年育成を図る。 ・青少年育成推進大会 公民館ごとに青少年育成に関わる団体の連携や情報交換を目的として、青少年育成地区市民会議を開催 ・青少年育成自治会懇談会 各自治会から選出されている青少年推進指導員が中心となり、地域での青少年育成のため自治会懇談会を開催。	全市民	上田 丸子 真田 武石	中央公民館 西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館	(中央) ・青少年育成市民のつどい 247人【107千円】 ・青少年育成自治会懇談会 延べ50自治会 約3,300人【12千円】 ・青少年育成ブロック懇談会 5地区294人【40千円】(西部) ・青少年育成市民会議・講演会150人 ・青少年育成指導者研修会113人 ・青少年育成自治会懇談会:延べ405人(城南) ・青少年育成市民会議:2回延べ286人参加(H25年度) ・青少年自治会懇談会:588人(H25年度)(上野が丘) ・青少年の未来を考える集い:350人【27千円】 ・青少年育成自治会懇談会:32自治会450人【90千円】 ・青少年育成推進指導者研修会:212人【8千円】 ・青少年育成推進指導員:4回(塩田) ・塩田地区青少年育成推進大会:204人【8千円】 ・青少年育成自治会懇談会:31自治会883人【87千円】 ・青少年育成推進指導員:6回(川西) ・子どもの明日を考えるつどい 143人	中央 159 西部 70 城南 77 上野が丘 125 塩田 95 川西 8	・継続して実施する。	
						丸子 丸子公民館	・11月に「子どもの明日を考える集い」を開催。各種団体、自治会関係者59人参加	100	100	・11月に「子どもの明日を考える集い」を開催予定。
						真田 真田中央公民館				
						武石 武石公民館				
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	47	子ども医療費給付金事業	○子育て家庭の負担軽減を図るため、医療費の補助を行う。	0歳から中学校3年生まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・子ども医療費給付金事業改正実施 改正前 通院費 0歳から小学校3年生まで 入院費 0歳から中学校3年生まで 改正後(平成24年4月1日) 0歳から中学校3年生までの通院費適用拡大。(所得制限なし。) * 児童:件数29,140人、支給延件数202,393件			・児童の現状にあった適正な給付事業の実施要件を検討した結果、0歳から中学3年生までの通院入院医療費が福祉医療の支給対象となりました。(H24.4.1制度拡大)
		平成24年度事業目標達成								
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	48	福祉医療(関係分)	① 子ども医療費給付。 出生から中学校3年生までの通院費及び入院費を給付。(所得制限なし。) ② 母子・父子家庭等医療費給付。 母子・父子家庭の医療費を給付。(所得制限あり。) ③ 重度心身障害(児)者医療費給付。 重度の障害を有する児童の医療費を給付。(所得制限あり。)	①出生から中学校3年生まで ②18歳未満の児童及び養育しているひとり親 ③重度心身障害(児)者	上田 丸子 真田 武石	福祉課	①児童:受給者数21,672人、支給延件数206,552件 ②母子家庭等:受給者数3,747人、支給延件数33,130件 父子家庭:受給者数212人、支給延件数1,330件 ③重度心身障害児(0~12歳):受給者数86人、支給延件数1,915件	①272,065 ②母子 60,807 父子 2,777 ③4,106	①301,433 ②母子 62,718 父子 2,864 ③422,010 (障害者全体予算)	・現状にあった適正な給付事業の実施。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	49	児童手当・特例給付支給	○中学校3学年修了前の児童を養育している者に対して手当を支給。(所得制限あり。)	0歳から中学校3年生まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・受給者数:15,716人 ・児童数:20,938人	・(0歳～小学校修了前) 被用者…1,735,546 非被用者…474,650 ・(小学校修了後～中学校修了前) 486,780 ・(特例給付(所得超過者)) 40,805	2,744,680	・制度内容の周知を図るとともに未請求者にも呼びかけ、受給率をあげる。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	50	児童扶養手当支給	○父又は母と生計を同じくしていない児童を監護している母又は父等に手当を支給。(所得により一部支給停止、全部支給停止あり。)	18歳未満の児童を養育している母親等	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・児童扶養手当支給 全部支給延月数 8,641件 一部支給延月数 9,121件 2子加算延月数 6,862件 3子以降加算延月数 1,713件	664,494	689,393	・事実婚の確認、世帯認定など、受給資格要件の調査を行っていく。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	51	父子家庭児童扶養手当	平成22年よりNo.50「児童扶養手当事業」に統合		上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課				
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	52	母子・父子家庭激励事業	○児童入学卒業祝品を支給。(小学校入学時:図書券、中学卒業時:図書券) ○交通災害遺児激励金を支給。(図書券)	18歳未満の母子家庭・父子家庭・交通遺児	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・24年度 入学101人(3,000円図書券) 卒業190人(3,000円図書券) 交通災害児18人(5,000円図書券)	963	1,235	・対象者の把握について、個人情報保護に充分考慮する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	53	保育料の軽減措置	○国の保育料基準額表より低額な基準の設定や延長保育料などの特別保育料の見直しを行う。 また、多子世帯の負担軽減と保育料の減免措置について、更に検討を進める。	0歳から小学校就学前までの乳幼児の保護者	上田 丸子 真田 武石	保育課	・市保育料は国基準より約32%低く設定 入所児童 1人目 35,430人 同時通園 2人目 7,707人 第3子軽減対象者 7,283人	・総軽減額 424,902 ・1人の児童が入園している場合の軽減額 306,337 ・2人の児童が入園している場合の軽減額 57,710 ・第1子が中学生で第3子以降の児童が入園している場合の軽減額 60,855		・継続実施。
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	54	私立保育園補助制度	○私立保育園の安定的な運営を確保するため、一定の基準による運営費の負担や特別保育や障害児保育などの実施に対して補助を行う。	市内の私立保育園に入園している児童	上田 丸子 真田 武石	保育課	(負担金) 978,519(対象児童数延べ15,047人) 私立10園 961,138 管外12市町、管外6園 17,381 (補助金) 121,600(10園合計) 職員加給金 23,685 1歳児保育 20,327 障害児保育 10,430 延長保育 56,514 一時預かり 6,457 乳児保育 3,825 待機児童 360	歳出(負担金) 978,519 (補助金) 121,600 歳入(負担金) 418,612 (補助金) 49,189	歳出(負担金) 986,184 (補助金) 133,623 歳入(負担金) 425,269 (補助金) 61,308	・負担金 継続 ・補助金 病児・病後児保育事業(体調不良児対応)を補助対象に拡大
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	55	私立幼稚園補助制度	○私立幼稚園が保護者の経済的な負担を軽減するため授業料等の減免を行った場合に、当該幼稚園に対して一定の補助を行う。 私立幼稚園の健全な運営を確保するための一定の補助を行う。	市内の私立幼稚園に通園している2歳以上の児童	上田 丸子 真田 武石	保育課	・市内私立12園へ補助 ・上田地域 10園 15,882 ・丸子地域 1園 851 ・真田地域 1園 1,842	18,575	21,190	・地域ごとに異なっていた補助基準を統一。 県補助の0.8/10を交付(5.1の入園児数が定員の50%に満たない園については補助率1.2/10)とし、H23から3年間で段階的に引き上げる。
I子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	56	認可外保育施設補助制度	○認可外保育施設通園児の保護者負担軽減及び児童の処遇向上のため、認可外保育施設が実施する事業に対して補助を行う。	認可外保育施設に在園する児童の保護者及び当該施設職員	上田 丸子 真田 武石	保育課	・保育料減免 3園 延 33人 ・乳児保育 3園 延 41人 ・1～2歳児保育 4園 延 319人 ・延長保育 3園 延 49人 ・夜間保育 1園 延 78人 ・休日保育 3園 延 182人 ・一時保育 3園 延 2,252人 ・職員健康診断 2園 延 19人	17,291	22,285	・県補助に合わせて、乳児及び1～2歳児保育事業等を充実させた。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度決算額(千円)	平成26年度予算額(千円)	平成26年度への課題・取組
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	私立幼稚園就園奨励費補助制度	○私立幼稚園が保護者の経済的な負担を軽減するため授業料等の減免を行った場合に、当該幼稚園に対して一定の補助を行う。		上田 丸子 真田 武石	保育課	・対象者数 904人 (市内私立12園、市外私立3園合計) ・従来条件 第1子対象者 507人 第2子対象者 73人 第3子以降対象者 1人 ・新条件 第2子対象者 292人 第3子以降対象者 31人	・歳出 97,440 ・歳入(補助金) 23,686	・歳出 101,500 ・歳入(補助金) 21,991	継続
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	57	要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業	○経済的な理由によって、就学困難と認められる小中学校の児童生徒の保護者に対して就学に必要な経費を支給する。		上田 丸子 真田 武石	小中学生 学校教育課	・小学生 要保護5人・準要保護624人 合計629人 ・中学生 要保護5人・準要保護370人 合計375人	83,298	93,329	・継続して実施する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	58	特別支援教育就学奨励費補助事業	○小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者負担を軽減し、その負担能力に応じ、特別支援学級の就学に要する経費に対して支給する。		上田 丸子 真田 武石	小中学生 学校教育課	・支給実績(対象児童生徒数)(4地域) 小学校 217人 中学校 82人 合 計 299人	11,419	12,015	・継続して実施する。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	59	通学費負担軽減事業	○小学生、中学生及び高校生が通学のため要する経費について保護者の負担を軽減する。		上田 丸子 真田 武石	小中高学生 学校教育課	・支給実績(対象児童生徒数)(4地域) 小学校 190人 中学校 560人 合 計 750人	39,044	41,870	・継続して実施する。 ・合併前の補助基準により地域ごとに対応しており、調整が必要(4地域共通)。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	60	奨学事業	○経済的事情により高等学校等進学が困難な生徒に対し、学資を貸与し就学の機会と学業の継続を保障する。		真田	真田地域教育事務所	・25年度新規貸付決定者 5名	(貸与総額) 8,460		・償還滞納者の増加による対策を強化していく必要がある。
I 子育ての喜びや感動を分かち合えるまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	上田市高等学校通学費等補助事業	○生徒が高校等へ通学するに当たり、保護者の通学に要する費用の負担を軽減する。(補助要件に該当する場合に補助金を交付する。)		上田 丸子 真田 武石	高校生 教育総務課	・対象生徒数 187人	8,391	9,000	・補助事業の実施により、保護者の負担軽減を図る。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	61	母子健康手帳の交付時の相談、妊娠相談	随時実施。	全妊婦	上田	健康推進課	・相談件数 1,234人	24	32	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	62	父親のための育児テキストの配布	○妊娠届時、将来の父親のための育児書として基本的な育児の知識及び父親の役割についてのテキストを配布し、共に学びきっかけとしてもらう	全妊婦とその夫	上田	健康推進課	・母子手帳交付時に「父親の育児テキスト」配布全妊婦届出者	180	195	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	63	妊婦一般健康診査	妊婦一般健康診査受診券の発行回数	全妊婦	上田	健康推進課	・妊婦一般健康診査受診券の受診数 14,809回	130,381	165,525	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	64	両親学級	○父親と母親の両方を妊娠中の教室 目的:お互いに協力して生まれてくる赤ちゃんを迎えるため準備	妊婦及び家族等	上田	健康推進課	・上田、丸子の2会場で開催 ・実施回数 36回 ・参加数 実人数 495人(妊婦295人 夫192人 その他家族6人) 延人数 652人	446	510	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)		69	97	
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	65	妊産婦家庭訪問	○必要に応じて家庭を訪問の実施	妊婦	上田	健康推進課	・妊産婦訪問 実人数579人(延人数654人)	No1と同様	No1と同様	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	66	「安心安全な出産を迎えるために」講演会の開催	No.64 「両親学級」に統合	妊婦及びその家族	上田	健康推進課		No64へ	No64へ	
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	67	妊産婦家庭訪問	○保健師・助産師などによる新生児・産婦を対象とした家庭訪問	新生児および産婦	上田	健康推進課	/	No1と同	No1と同	/
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
No.1 「新生児訪問」に統合										
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	68	赤ちゃん手帳	○出生届で時配布育児テキストとして「赤ちゃん手帳」の配布、育児の基本情報や健康教育のテキストとして活用	全出生児の保護者	上田	健康推進課	・出生届の提出時に健診や育児に関する情報提供の掲載冊子「赤ちゃん手帳」の配布 ・配布対象：出生児全員と3歳以下の転入児等	535	652	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	69	ファーストベビー教室	○初めての育児をしている母親等を対象に、子どもへの愛着形成の確立、情報交換・交流の場として開催	第1子を子育て中の保護者	上田	健康推進課	・開催数12回/年 参加者数215人	35	35	開催場所：1会場から2会場へ
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	70	乳幼児健診及び乳幼児教室	○4か月・10か月・1歳6か月・2歳児歯科・3歳児健診 健診・7か月教室・おたんじょう教室の実施	0歳から3歳の子どもと保護者	上田	健康推進課	乳幼児健診受診人数(受診率) 4ヶ月 1222人 (98.0%) 10ヶ月 1226人 (94.31%) 1歳6か月 1200人 (94.9%) 2歳 1019人 (76.7%) 3歳 1286人 (96.8%) 7か月教室出席者 1033人 おたんじょう教室出席者 968人	8,623	8,700	・関係部署と連携強化 ・自閉症 チェックリストの健診への導入検討
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)		1,074	1,249	
					真田	健康福祉課 (健康推進係)		2,021	2,017	
					武石	健康福祉課 (健康推進係)		55	55	
Ⅵ 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	71	専門健診	○小児科医師、整形外科医師による専門健診 対象：健診後経過観察が必要な児	0歳から3歳の子どもと保護者	上田	健康推進課	・小児科医師による診察 実施回数 3回 受診者数19人 ・整形外科医師による診察 実施回数 1回 受診者数1人	69	69	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	72	子どもの事故予防	○事故予防の啓発と知識の普及 ・各健診時チェックシートによる啓発 ・「子どもの病気・けが・知っておきたい手当ての仕方」講演会の開催 ・乳幼児健診等で情報提供・保健指導	0歳から3歳の子どもと保護者	上田	健康推進課	○事故予防の啓発と知識の普及 ・各健診時チェックシートによる啓発 ・「子どもの病気・けが・知っておきたい手当ての仕方」講演会 医師による講話 開催2会場(受講人数43人) ・乳幼児健診等で情報提供・保健指導	221	299	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	73	歯科相談・教室	○乳幼児健診、教室時歯科指導	0歳から3歳頃の子どもとその保護者	上田	健康推進課	/	No16へ	No16へ	/
					No.16 「歯の相談」に統合					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	74	予防接種	○乳幼児から小・中学校における各種定期予防接種等	乳幼児から高校生まで	上田	健康推進課	接種者数(接種率) ・不活化ポリオ接種者数 (1期1回目73人、1期2回目170人、1期3回目232人、1期追加724人) ・BCG 1104人(70.0%) ・麻しん・風しん(MR) 1期 1,457人(73.5%) 2期 1299人(70.5%) ・日本脳炎 1期1回目 1765人(51.2%)、1期2回目 1810人(46.1%)、1期追加 2276人(24.0%)、2期 562人(17.0%)	296,545	45,358	・予防接種法、国の通達等の基準で実施
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)	・四種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・急性灰白髄炎) 1期1回目 1,292人(87.5%)、1期2回目 1,321人(78.9%)、1期3回目 1,343人(70.9%)、129人(11.0%) ・三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風) 1期1回目 7人・1期2回目 25人・1期3回目 51人・1期追加 1,241人 ・二種混合(百日咳・破傷風) 第2期 1,789人(94.8%) ・ヒブワクチン 1期1回目1,367人(89.5%)、1期2回目1,280人(79.3%)、1期3回目1,287人(70.4%)1期追加1,526人(73.2%)			
					真田	健康福祉課 (健康推進係)	・小児肺炎球菌 1期1回目 1,367人(89.1%)、1期2回目 1,280人(79.3%)、1期3回目1,301人(70.4%)、1期追加 1,312人(73.0%) ※ ・ポリオは生ワクチンから不活化ワクチンへ移行期であるため接種人数のみ記載。 ・三種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風)は四種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・急性灰白髄炎)の移行期のため接種人数のみ記載。 ・麻しん・風しん(MR)については3期、4期については24年度終了			
					武石	健康福祉課 (健康推進係)	・子宮頸がんワクチンについては平成25年度から定期接種になったが、平成25年6月より当面の間せきよぶ区的な接種勧奨を差し控える事になった。 ・ヒブ、小児肺炎球菌は平成25年度から、定期予防接種となった。 ・日本脳炎は、成25年度以降に、3歳、7歳、8歳18歳になるものに接種勧奨実施。			
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	75	乳幼児健康診査・予防接種等問診票について外国語版の整備	○外国語版の整備	外国籍の保護者	上田	健康推進課	○外国語版(常備しているもの) ・母子健康手帳(ポルトガル語、英語、タイ語、インドネシア語、中国語、スペイン語、ハンガール語、タガログ語) ・保健ごよみ(ポルトガル語) ・乳幼児健診問診票(スペイン語、ポルトガル語、英語) ・予防接種問診票(ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語)	27	41	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	76	「いいお産の日」への協力	○11月3日(いいお産の日)にあわせ、講演会等を実施している団体(看護協会・助産師会・母乳育児をすすめる会)に協力。	妊婦とその家族	上田	市立産婦人科病院	・お産に関するイベント等に対し、院内でのポスター掲示及びパンフレット配布に協力。	0	0	・継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	77	母乳育児の推進	○母乳育児に関する知識の普及・相談	6歳以上成人まで	上田	市立産婦人科病院	・母乳育児に関するポスター等の院内掲示。ホームページでの啓発。外来等での相談に対する対応。	0	0	・継続して実施する。特に、母乳育児率を上げるため、母乳育児に関する知識等の普及を積極的に実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	78	健康相談	○子育てに関する健康相談	市民	上田	健康推進課	・相談件数 2608人	No.13へ	No.13へ	
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
No.13 「健康相談」に統合										
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	79	不妊治療費の助成	○不妊症治療の助成、情報提供や相談体制、不妊治療の関する啓発	妊娠を望む夫婦等	上田	健康推進課	・補助金交付者数 35人	1,992	2,500	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	子育て中の母親の健康づくり	○子どもが生まれてもスポーツ等に参加できるための地域づくり。 ○子育て中の人のための健康教室	子育て中の親	上田	健康推進課				
					丸子	丸子社会教育課				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	武石地域教育事務所 武石健康福祉課				
		・子育てママの健康づくり教室 12回/年 参加人数102人				65	52	・継続		
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	80	乳幼児期から児童生徒までの食育(離乳食・幼児の食事相談)		0歳から3歳児とその保護者	上田	健康推進課	○乳幼児の食事の相談・教室 ・乳幼児健診(4、10、1.6、2歳、3歳児健診)時における食事指導 集団指導 4,934人 個別指導713人 ○食事相談 ・定例相談日 126回 443人 ・定例外(電話) 35人 ・定例外(来庁) 56人 ・定例外(訪問) 2人 ・子育てランド育児相談 45人 ・専門健診 3回/年 19人 ○教室 ・7か月児教室 58回 1025人 ・おたんじょう教室 50回 967人 ・乳幼児教室 11回 17組 ・取り分け離乳食教室 8回 80組 ・両親学級 9回 159人 ・プレマクッキング 18回 112人	No15に含	No15に含	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	80	乳幼児期から児童生徒までの食育	○保育園・幼稚園での食育 ・公立保育園・幼稚園での、毎日の給食のサンプル展示。 ・保護者対象の給食試食会開催。 ・栄養士による「子どもの食事」についての講話。		上田 丸子 真田 武石	保育課	・試食会等で講演。 ・公立園全園で給食サンプル展示開始。	0	0	・継続して実施する。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	80	乳幼児から児童生徒までの食育	○PTA試食会等保護者が給食を知り、学校給食への理解を深める。 ・学校給食を活用した、計画的な食育の推進。 ・身支度調査・残菜調査、栄養士による講話等。 (学校ごとに計画実施する。)	小中学生とその保護者	上田 丸子 真田 武石	学校教育課 学校給食センター	・学校の計画による取組み。 ・全校集会等で栄養士の講話を実施 ・PTA活動、学校保健委員会等で保護者を対象に栄養士の講話等を実施。 ・学校給食展の実施 ・来入児保護者を対象に栄養士の講話を実施。 ・PTAを対象にした食育の講話の実施	0	0	・継続して実施する。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	81	管理栄養士の園巡回指導	○公立保育園・幼稚園の巡回を行い、各園における食育に関する指導体制の整備		上田 丸子 真田 武石	保育課	・公立園全園に年2～3回の巡回指導を実施。 ・乳幼児食学習会を2回開催。	0	0	・継続して実施する。 ・個別指導の充実
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	82	食に関する情報の提供	○毎月各家庭に給食だよりを配布し、保護者に給食献立、献立のレシピ、食育関連の情報を提供する。		上田 丸子 真田 武石	保育課	・毎月各家庭へ配布。園独自の給食だよりもあり	0	0	・継続して実施する。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	82	食に関する情報の提供	○毎月各家庭に給食だよりを配布し、保護者に給食献立、献立のレシピ、食育関連の情報を提供する。		上田 丸子 真田 武石	学校教育課 学校給食センター	・学校給食センターのホームページで献立表・当日の給食メニュー(写真)を紹介。	0	0	・継続して実施する。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	83	地元農畜産物の活用	○公立保育園・幼稚園や学校給食の食材に地元農産物を使用する。		上田 丸子 真田 武石	保育課 学校教育課 学校給食センター 農林課	・食材規格表に産地を指定し地元産を納入してもらったようにした。農林水産省の補助事業を実施し地元産使用量が増加した。納入業者に提出してもらった誓約書の中に産地消費への配慮を依頼 ・食育の日に地場産物を使用したメニューを実施し、児童・生徒に周知した。	0	0	継続
				園児及び保護者、公立保育園及び幼稚園職員、小中学生	丸子	丸子産業観光課 丸子学校給食センター	・食材規格表で産地を指定し地元産を納入してもらったようにした。 ・農林水産省補助事業を実施し、地元産使用量が増加した。	0	0	継続
					真田	学校教育課	・地元生産者と連携し地域の青果物を積極的に使用した。	0	0	継続
					武石	学校教育課	・地元生産者と連携し地域の青果物を積極的に使用した。	0	0	継続

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	84	園児・児童による作物の栽培	○学童農園に米・野菜を栽培し、食に関する関心を深める。	園児及び保護者、公立保育園・幼稚園職員、	上田 丸子 真田 武石	保育課	・公立保育園及び幼稚園、33園で、米栽培や畑やプランターで野菜等を栽培する。収穫物は給食に利用したり、家庭へ持ち帰る。地域の方との交流もあり。クッキング保育の実施。	0	0	・継続して実施する。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	84	園児・児童による作物の栽培	○学童農園に米・野菜を栽培し、食に関する関心を深める。	小学校児童	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・公立小学校で米、野菜を栽培することで、自然に触れる機会を持つとともに、地域の農業者との触れ合いや自分で作物を収穫することを通じて、食べ物や生産者に感謝の気持ちを持つことができた。また地産地消や食育の推進を図った。	673	839	・継続して実施する。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	85	食育推進計画の進行管理	○食育推進計画に基づく食育推進事業の共有と関係課の役割について	庁内関係課	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・食育推進に関する担当者会議	0	0	・継続
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	86	未来のお父さんお母さん支援事業	○健康な次世代を育てるための思春期から青年期の健康づくり啓発事業及び健康教育	妊婦、学校医療関係者、未来のお父さんとお母さん	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	○健康な次世代を育てるための思春期から青年期の健康づくり啓発事業 未来のお父さんお母さん事業 ・成人式でのパンフレットの配布 ・健康な母体づくりのための講演会 1回 参加人数 22人 ・健康教育「思春期の身体づくり」1回 参加人数100人 ・出前講座「命の学級」10回 参加人数679人 ・高校への健康教育(助産師) 2回 437人 ・思春期保健関係者連携会議 1回 <会議メンバー> 産婦人科医師、小中学校養護教諭、保健所 子育て子育て支援課、福祉課、健康推進課	24	48	・継続
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	87	乳幼児健診 (基本的生活習慣確立)	No.70 「乳幼児健診及び乳幼児教室」に統合	保護者	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	88	思春期健康教育		小中学生	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 学校教育課 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係) 健康福祉課(健康推進係)	・思春期健康教育 出前講座の実施	0	0	・継続

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	89	学校健診	○学校保健安全法に定められた健診等の実施。 ○生活習慣病予防のための血液検査の実施。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	【児童生徒の健診等】(4地域) ・健康診断[内科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科]の実施(全児童生徒対象:年1回) ・心臓病健診(小学1・4年生、中学1年生:年1回) ・検尿検査(全児童生徒対象:年2回) ・ぎょう虫検査(全児童対象:年1回) ・貧血検査(小学6年生、全中学生:年1回) ・生活習慣病予防検診(小学4年生、中学1年生:年1回)	15,032	22,785	・学校保健安全法に定められた健診を適確に行う。また、任意に行っている「児童生徒心臓病健診(小学4年生:年1回)」と「生活習慣病予防検診(小学4年生、中学1年生:年1回)」については、児童生徒の健康管理の面で必要な検診であるため継続実施していく。引き続き、児童生徒の健やかな育成のために健康管理に努めていく必要がある。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	90	子ども達が自分の身体の状態を知り「健康」、「命」を大切に考えるための取組	①実際の「自分の身体」の理解のための教育。 ②睡眠・休養・身体を動かす・清潔等の基本的な生活習慣の改善。 ③学童血液検査の事後指導の強化。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	①健康診断の後、「自分の体」に関する学習をしている。(歯・性教育・骨の成長・内臓の役割・体を守る免疫等の指導) ②朝食の大切さなど食育指導や、規則正しい食事・排便・睡眠等により心と体が成長するという「生活リズム」の大切さを指導している。(学年に応じた指導を実施) ③貧血検査と生活習慣病検査実施後に、栄養士や養護教諭が「保健だより」等を活用し、分析結果や全体の様子、予防方法などを保護者に周知している。また、治療が必要な児童生徒には個別指導を実施している。一部の小学校では、検査終了後、児童に養護教諭が予防指導。	0	0	・朝食欠食や、早寝早起きなどの生活習慣の乱れから、肥満ややせ、活力のない児童生徒が増加傾向にあるといわれている状況の中、規則正しい生活習慣が児童生徒にいかに必要なことかということ、児童生徒と保護者に周知していくことが重要である。今後、現在の取り組みを基本に、更に指導の強化を図っていく。 ・新たに作成した「早ね早起き朝ごはん」リーフレットの配布。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	91	思春期保健体制の構築及び推進	○思春期保健連携会議と健康教育の実施	小学生から思春期のお子さんとその保護者等思春期関係者	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 丸子地域教育事務所 丸子健康福祉課 真田健康福祉課 武石地域教育事務所 武石健康福祉課	・思春期保健連携会議の開催 1回 (※No.86参照)	48	48	・継続
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	92	エイズ教育/啓発	○パンフレット(文部科学省から)の配付。 ○ビデオの貸し出し。 ○広報掲載。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	(4地域) ・パンフレット等(文部科学省から)の配付:1回 ・世界エイズデー、エイズ検査普及月間等の周知	0	0	・エイズ教育は、特に中学生には必要な教育であるためパンフレットの配布や、防止啓発等による周知を引き続き行っていく。しかし、それ以上の取り組みができていないのが課題である。
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	93	喫煙・薬物に対する教育	○パンフレット(文部科学省から)の配布及び薬物乱用防止キャラバンカーを計画的に学校に派遣。 ・毎月21日は市民健康づくりの日事業として実施。 ・禁煙ステッカーの作成。 ・媒体を利用した健康教室。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課 学校教育課 丸子健康福祉課 学校教育課 学校教育課 武石健康福祉課	・薬物乱用防止教育研修会の実施 ・各校で薬物乱用防止教室の実施 ・薬物乱用防止教育指導者研修会参加(5校) ・全中学生を対象とした喫煙防止指導パンフレットの配布 ・禁煙教室等の実施	0	0	・薬物乱用防止教室、禁煙教室等を引き続き行っていく。児童生徒が自ら考えるような、心に残る授業を行っていくことが課題である。(総合学習の時間等を使っての授業等)
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	94	産院の移転新築	○長野病院の隣接地に移転し、立地的集約を図りながら連携を強化し、安全なお産・適切な医療提供を行うとともに、地域内で不足している分娩取扱数の確保を図る。	全市民	上田 丸子 真田 武石	産院建設準備室	・建設完了 工事費総額 1,300,000千円			
		事業終了								

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	95	医師確保修学資金等貸与制度	○市が指定する医療機関の医師として従事しようとする医学部に学ぶ大学生の方などに資金の貸与	医学生等	上田	健康推進課	・継続9人(修学 8人・研修1人) 新規2人(修学2人)	27,600	34,800	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	96	助産師確保修学資金等貸与制度	○上田市産院の助産師として従事しようとする助産師養成施設で学ぶ方などに資金の貸与	助産師等	上田	健康推進課	・新規1人(研究1人)	500	1,700	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	97	上田市内科・小児科初期救急センターの運営	○20時から23時までの間、内科系及び小児科の初期救急患者を診療する。(電話相談は19時～23時まで)	全市民	上田	健康推進課	・平成16年度から小児初期救急センターとして開設。 ・平成22年度からは内科・小児科初期救急センターとして内科も開設。 ・小児科 受診者数:2,115人、電話相談者数:1,405人、合計:3,520人 ・内科 受診者数:1,400人、電話相談者数:537人、合計:1,937人	79,592	68,298	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	98	在宅当番医制	○上田市医師会、小県医師会、上田小県歯科医師会に委託(平日夜間、深夜、日曜・祝日)	全市民	上田	健康推進課	・上田市医師会、小県医師会、上田小県歯科医師会に委託(平日夜間、深夜、日曜・祝日)	11,292	15,847	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅱ 母性・父性が育ち子どもが健康に育つまちづくり	99	救急情報ネットワークの周知	○上田市医師会、小県医師会の協力を得て、医療機関の開院時間外の診療の可否についての消防署を通じた情報提供	全市民	上田	健康推進課	・上田市医師会、小県医師会の協力を得て、医療機関の開院時間外の診療の可否についての消防署を通じた情報提供	2,309	3,212	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅲ 次代へつなぐ心豊かな自立した人づくり	100	異年齢交流の実施	○幼保小中連携活動として、園児と児童・生徒の交流を実施する。 ・総合学習などで中学生と乳幼児とのふれあい(公立保育園31園、公立幼稚園2園で実施) ・子育て支援センター等でボランティア活動	園児、 小中学生	上田	子育て・子育て支援課 保育課 学校教育課	・各中学校ブロックごとに、幼保小での園児と児童の交流を行う。 (音楽界、運動会、各種交流事業等)	0	0	・保育園と小中学校の交流をよる深める。
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	101	家庭の日	○家庭について考えてもらう機会とし、小中学校生を対象に「家庭の日」の作文を募集し、優秀作品を表彰するとともに啓発活動に活用する。 「家庭の日」の普及・定着を図るため、広報等により啓発活動を推進する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・家庭の日の作文は、小中学校から679作品の応募があり、内7作品を入賞とし、子ども情報誌、市HPにも数作品を掲載した。 ・有線放送により、毎月、「家庭の日」の啓発を行った。 ・第3日曜日とその前日の土曜日上田城櫓等10施設で入館料の減免を行った。	74	131	・家庭の日の作文について、より多くの小中学生に提出いただけるよう周知に努める。 ・毎月第3日曜日は「家庭の日」であることを広く周知するために、広く記事掲載等を依頼し、啓発に努める。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	102	職場体験学習	○中学2・3年生で官公庁、商店、病院、サービス業などの協力を得て、実際の仕事を体験することにより、職業観の育成を図る。	中学2・3年生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	(主な体験職場) ・保育園、観光課、体育課、図書館、博物館、給食センター等 市役所に関係する施設での受入状況等をまとめたリストを作成した。 ※市役所他、各中学校が生徒の希望に基づき、独自で病院、企業等での職場体験をさせていただいた。 ・商工会議所主催 キッズマート事業への協力	0	0	・子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会人、職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育の推進が強く求められている。 ・現在の社会情勢もあり、職場体験学習の受入先の確保が難しくなっている。 ・「上田市ものづくり・キャリア教育推進検討委員会」と連携し、キャリア教育を推進する。 ・職場体験学習についての企業向けパンフレットの配布や、職場体験学習をPRする「のぼり旗」により、職場体験学習の場の拡大と地域への啓発等に努める。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	103	うえだこどもまつりの支援	○うえだこどもまつり実行委員会を支援する中で、小中高校生のボランティアスタッフを募集し、企画・運営に携わってもらう。	小・中・高校生	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・中学生44人がジュニアスタッフとして参加し、司会進行や催事の運営を行った。	285	285	・ジュニアスタッフとして大勢の子どもたちに参加してもらい、次世代の地域活動の担い手を養成する事業とする。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	* 計画 策定後 に新た に実施 した事 業	小中高校生ボランティア活動	○サマーチャレンジボランティア ○スプリングチャレンジボランティア	小・中・高校生	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・上田市社会福祉協議会で実施している事業支援。	0	0	・参加者募集記事を子ども情報誌等に掲載し支援する。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	104	学力検査・調査を活用した実態把握と指導方法の改善	○国・県・市・が実施する学力検査・調査を活用し、児童生徒の学力の実態を把握し分析した結果をもとに、各校で指導方法や授業の改善に取り組む。 ・工夫・改善した事項や課題を学力向上委員会や研修会などで情報を共有し、児童生徒が面白いと感じ、魅力ある・わかる・楽しい授業を実現し、児童生徒の学力向上を目指す。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	市が実施した学力検査 ・小学校は5、6年生が国語と算数を実施。 ・中学校は1、3年生が国語と算数を実施。2年生は国語、数学、社会、理科、英語を実施。	6,330	6,706	・小中で継続して結果等が分かるように教科、実施学年などを調整。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	105	情報機器を活用したわかる授業の実現	○学校教育の情報化のため、情報教育担当指導主事が各校の情報担当教員を指導し、教員全体のスキルアップを図る。 ○学校を訪問して直接支援を行うなど、情報機器を有効活用した、魅力ある・わかる・楽しい授業を実現し、児童生徒の学力向上を図る。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・情報担当指導主事による学校訪問、支援を年間を通して実施した。また、ICT(情報通信技術)支援員と連携した授業支援等も行い、情報機器活用の拡充を図った。	7,447	3,642	・引き続き学校支援の充実に努め、情報機器を効果的に活用し、魅力ある「わかる授業・楽しい授業」を実現し、児童生徒の学力向上を図る。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	106	集中日本語教室「虹のかけ はし」	○来日後間もないなどの理由で日本語が理解でき ない児童生徒に対して、基礎的な日本語や日本の 生活習慣を学び、学校生活へスムーズに適応でき るよう支援する教室を開設。	外国籍小中 学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	【修了児童数】 東小学校 3人 南小学校 3人	2,781	2,799	・現在集中日本語教室の教員・指導補 助員が話せる言語が、ポルトガル語と スペイン語であるため、他の言語を母 語とする児童生徒への対応が一つの課 題である。 ・対象者の年齢が上がり、中学生の高 校への進学に対応する支援も必要と なっている。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	107	特色ある学校づくり交付金	○新学習指導要領の「自ら学び自ら考える力など の生きる力を育むこと」による、特色ある教育、特 色ある学校づくりの推進を図るため、その中心的な 事項である「総合的な学習の時間」の実施に財政 的な支援を行う。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	【小学校の主な取り組み】(4地域) 塩尻小:ホテルの生息する環境学習など 西内小:鹿教湯八景太鼓の活動、登り窯活動など 傍陽小:地域の方に学ぶ体験活動、児童の体力向上プロ ジェクトなど 武石小:大豆栽培と豆腐・味噌作り、収穫際、観劇教室な ど 【中学校の主な取り組み】(3地域) 塩田中:しおだっ子応援団(環境整備・水耕栽培、行事支 援、学習支援・進路相談 等) 丸子北中:地域の方を講師に招き、技能や知識を高める 「丸子コスモス大学」の実施 真田中:食育を中核とした健康教育の実施	8,675	9,104	・地域の特性を生かし、各校で創意工 夫をする中で、独自の特色ある教育活 動への交付金としていきたい。 [基本分] 小学校1校当たり:95千円～253千円 中学校1校当たり:137千円～243千円 [特別分] 菅平小校技スキー:1,300千円 菅平中校技スキー:1,600千円 [要望分] 学校の意欲と特色を評価する中で交 付
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	108	心の教育推進プラン	○読書運動 ○汗を流そう運動 ○あいさつ運動 ○スイッチオフ運動 ○子どもの人権を守る運動 以上5つの運動を学校、地域、家庭が協力して推 進する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・公民館の青少年育成推進指導員会議において運動の 推進について説明。	0	0	青少年育成推進指導員会議等で説明 し、引き続き啓発に努める。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	109	不登校対策としての相談・ 学習支援事業 (相談所、中間教室)	○教育相談所を中心に相談体制を整備するととも に、支援専門員による家庭訪問等にも力を入れ、 児童生徒、保護者、学校等の支援を行っている。 また、ふれあい教室(中間教室)を市内5カ所に設 置し、不登校児童生徒の学習支援・相談業務を行 う。	小中学生及 びその保護 者	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	相談件数(4地域) ・教育相談所 1,088件 ・心の教室相談員 15,845件 ・ふれあい教室 401件 ・学校、家庭訪問 391回 ・通室生 20人	3,591	3,637	・学校、教職員、保護者等との一層の連 携を図る。 ・相談業務を行う民間団体との連携を 図る。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	110	心の教室相談員事業	○市内全小中学校に対し、子どもと親の相談員 (県配置)・心の教室相談員(市単独)を配置し、不 登校あるいは不登校傾向にある児童生徒への対 応及び一般児童生徒への相談業務にあたる。	小中学生及 びその保護 者	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・配置学校数(4地域) 小学校 25校 中学校 11校 ・相談件数(4地域計) 小学校 10,667件 中学校 5,178件	24,015	28,109	・相談所、教職員、保護者等との一層の 連携を図る。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組						
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	111	サポートチーム推進事業	○いじめ、暴力行為、少年非行などの問題行動等 を起こす個々の児童生徒に着目して的確な対応を 行うため、学校、教育委員会、関係機関からなるサ ポートチームを組織し、地域における支援システム づくりを行う。	小中学生及 びその保護 者	上田	学校教育課	・事務局会議・学校訪問等11回	0	0	・学校の状況を把握し、必要に応じてサ ポートチームを活用する。						
					丸子											
					真田											
					武石											
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	112	上田市文化少年団	○子ども文化祭・子ども文化講座の開催。	園児から高 校生まで	上田	文化振興課	・第8回子ども文化講座 12/1上田創造館文化ホールにて実施「みんなでつくるパ フォーマンス」参加者約160名 ・第13回子ども文化祭 2/8、9丸子文化会館セレスホール・ホワイエにて実施 参 加者約900名	500	500	・第13回子ども文化祭後には、新たに2 団体が加盟し、全13団体となった。文化 少年団の取り組みがより広がりを持つ よう、さらに加盟団体を募り、事業の充 実を図りたい。 ・平成26年度開催の第14回子ども文化 祭は交流文化芸術センター大ホールで の開催を予定しており、地域の方々に 子どもたちの活動をさらに知っていただ くよい機会としたい。						
					丸子											
					真田											
					武石											
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	113	青少年育成事業	○子ども会育成会活動の支援と補助 (市内地域の子ども会に配分金を交付)	小中学生	上田	生涯学習課	・上田市子ども会育成連絡協議会に補助金を交付すると もに、単位子ども会育成会活動を支援した。	4,276	4,452	・子どもたちが、学校生活では体験でき ないような事業内容とする。 ・子どもたちが主体性を持ち、自主的に 様々な活動に参加し、豊かな心が育つよ う、地域の子ども会育成会等の活動を 支援する。						
					丸子											
					真田											
					武石											
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	113	青少年育成事業	○青少年健全育成事業の実施(丸子地域・武石地 域)	小中学生	上田	生涯学習課	・丸子地域青少年指導者協議会に、年4回の体験塾の開 催を委託	150	150	・子どもたちが、学校生活では体験でき ないような事業内容とする。 ・子どもたちが主体性を持ち、自主的に 様々な活動に参加し、豊かな心が育つよ う、地域の子ども会育成会等の活動を 支援する。						
					丸子											
					真田											
					武石											
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	114	青少年派遣交流事業 (国際理解・国際交流教育 の推進)	○国際化が進展している中、児童生徒に国際社会 に生きる日本人としての自覚を促し、国際社会に 参加、協力できる能力と態度を養い、世界の平和と 人類の幸福及び貢献しようとする資質の育成に努 めます。	13から15歳 まで	上田	学校教育課	・中国寧波市ヘジュニア大使を派遣し、学校訪問等国際交 流事業の実施。(合併前から実施している。21年度から全 地域対象に参加者を募集している。)	0	2,737	・H25年度は鳥インフルエンザの発生 により中止(来年度に延期)。 ・H26年度は実施予定。						
					丸子						丸子地域教育事務所	・ブルームフィールド市郡へ中学生を派遣し、ホームステイ などを通じた交流や自然・文化体験等を行う。	0	0	・隔年の実施のためH24年度はなし。 H25年度実施予定。	
					真田											真田地域教育事務所
					武石											武石地域教育事務所

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	115	青少年ネットワーク会議の 充実	○丸子地域内の小・中・高等学校の代表者による 青少年ネットワーク会議を開催し、学校や地域を越 えた協力により、学校や地域における主体的な活 動を進める。	12から18歳 まで	丸子	丸子地域教育事務所	・4回の会議を開催し、主に各校で取り組んでいる活動につ いて話し合った。 7校合同のあいさつ運動・エコキャップ回収活動・スマイル ステーションの年間開催を行った。	0	0	・引き続き、会議を進める中で子どもた ちが主体的にできる活動を、自ら企画し 実行する。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	* 計画 策定後 に新た に実施 した事 業	青少年活動推進指導者の 育成	○青少年活動を推進する指導者の育成を図り、青 少年団体活動が健全に発展するよう支援を行いま す。	全市民	上田	学校教育課	・青少年指導者協議会に業務委託している青少年向け事 業のわくわく体験塾では、保護者に向けた指導者育成を兼 ねて行っている。	0	0	・青少年指導者協議会の組織充実及び 拡大を意図し、分館役員等を対象とした 研修会を開催する。
丸子					丸子地域教育事務所					
真田					真田地域教育事務所					
武石					武石地域教育事務所					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	116	わくわく芸術体験	○芸術家を学校に派遣し、プロの演奏家のパ フォーマンスを子どもたちが手の届く距離で生の芸 術に触れる機会を提供する。芸術に親しみ興味関 心を持つきっかけをつくる。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	文化振興課	・第1回:5/2 彌勒忠史(オペラ歌手・演出家)、西山まりえ (ヒストリカルハーブ奏者) 菅平小学校 3・4・5・6年41名 ・第2回:7/11 Quatuor B(サクソフーン四重奏団) 神 科小学校 4・5・6年360名 ・第3回:9/20 瀧川鯉昇・瀧川鯉津(落語家) 塩川小学校 全校201名 ・第4回:10/21 フレッチェツテ(オペラユニット) 西小学校 6年72名	502	759	・平成25年度は、芸術分野的にも内容 的にも大変充実した開催となった。 26年度も児童・生徒に質の高い芸術・ 芸能を身近で体験してもらえるように、 効果的な実施を図りたい。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	117	上田ときめきサミット会議の 開催(「上田若者フォー ム」と名称変更)	○市内の各学校(高・大・専)の学生が集まり、上 田市について自分の考え等を自由に話していただ く、意見交換会形式の会議を開催し、将来の上田 市を担う青少年を育成する。	中学生、 高校生、 大学・専門 学校生	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・高校生6名(3校)、大学生7名(4校)が参加し、上田の魅 力や課題について語り合った。	63	166	・若者同士の交流を深めるとともに、地 域の将来を担う人材の育成に繋げる事 業を実施する。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	118	成人式	○新成人が成人になる自覚を深め、青年の主体 性・創造性を活かした事業とするため、新成人によ る成人式実行委員会を組織し、7会場分散方式で 式典を実施する。	20歳	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・市内7会場にて開催し、1,234人の新成人の参加があっ た、出席率78.2%。	2,485	3,148	・今後、より出席率が向上するように努 める。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	119	三世代ファミリースポーツ 大会	○三世代で構成したチームによるゲートボールや マレットゴルフ等大会の開催を老人クラブ連合会に 委託し、世代間交流を図る。(年2回開催)	全市民	上田 丸子 真田 武石	高齢者介護課	・平成25年8月11日 ゲートボール大会5チーム 70人参加 ・平成26年3月25日 スマイルボウリング大会 80人参加	240		・核家族化などにより世代交流が乏しい 中で、簡単なスポーツを通じて交流を図 ることにより、地域づくりの一助となり、 高齢者の生きがい対策にもつながる。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	120	上田市高齢者文化祭	○高齢者福祉センターで開催する上田市高齢者文 化祭で、園児や児童、生徒がステージ発表をでき る場を設けることにより世代間交流を図る。(高齢 者文化祭実行委員会へ委託。)	全市民	上田 丸子 真田 武石	高齢者介護課	・10月19日・20日開催 参加者1,356人 特別出演 三好町保育園 上田染谷丘高等学校舞踊班	300		・高齢者福祉センター等に集う仲間が、 日ごろの楽しみの一つとして習ってきた ものを、文化祭の場で発表できること や、孫ともいえる子どもたちの特別出演 もあり、高齢者の生きがい対策にもつな がる。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組		
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	121	総合型地域スポーツクラブ への参加	○子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツ(多項目)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されている「総合型地域スポーツクラブ」の活動を支援する。	全市民	上田	スポーツ推進課	・市内5スポーツクラブの合同会議を開催し、情報交換を行うとともに、合同スポーツイベントを開催した。また、会員増加のためのチラシを作成し、関係団体、施設等に配布した。	0	0	・各スポーツクラブの情報交換の機会を増やし、合同で開催する事業の企画等を行い、クラブ加入者の増加につなげるための、事業の充実を図る。		
					丸子							
					真田							
					武石							
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	122	スポーツ少年団	○就学児童や中学生(種目により異なる)を対象としたスポーツ活動を実施する。	小中学生	上田	スポーツ推進課	・野球、サッカー、バレーボール、剣道等43団体2,059名が年間を通じて活動した。	2,050	2,050	・登録団員数が減少傾向にあるため、広報等による周知の徹底を図り、多くの子どもたちの参加により、より一層活動の充実を図る。		
					丸子							
					真田							
					武石							
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	123	スポーツ教室及び各種ス ポーツ大会	○わくわくスポーツランド：月一回、親子で参加して、ニュースポーツを楽しみ、人とのふれあいやきずなを深める。 ○スポーツ講習会：ケガの予防と応急手当・学童野球大会・ファミリービーチホール大会・ジュニアビーチボール大会・マレットゴルフ大会・少年スポーツ教室の開催。	全市民	上田	西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 川西公民館	(西部) ・小学生初心者スケート体験教室62人 (城南) ・ジュニアビーチボール大会：20チーム95人(21) ・学童野球大会：10チーム138人(20) (上野が丘) ・上野が丘ガッツクラブ小学生対象：5団体88人 (川西) ・学童野球大会 6チーム80人 ・川西剣道教室 576人	西部 18 城南 41 上野が丘 0 川西 39	・継続して実施する。			
					丸子		丸子公民館	・ジュニアサッカー教室40回125人 ・ジュニアソフトテニス教室35回27人 ・弓道教室20回13人 ・少年少女柔剣道教室35回35人 ・ジュニアスケート教室1回94人 ・ちびっこナイター1回31人		1,435	1,435	・継続して実施する。
					真田		真田中央公民館	・スポーツ教室10種14教室 282人		委託料2,800	2,800	・継続して実施する。
					武石		武石公民館	・ジュニアスポーツ教室剣道ほか10講座		委託料1,200	1,200	・継続して実施する。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	124	学校評議員制度	○学校が保護者や地域住民の信頼に応え、家庭や地域と協力して一体となって子どもたちの健やかな成長を図るため、小中学校各校に6人までの学校評議員をおき、意見・提言をいただきながら地域に開かれた学校づくりを推進する。(学校評議員の来校及び教員との懇談回数を3回以上。)	小中学生	上田	学校教育課	・全校で計190人に評議員を委嘱(4地域) ・年1回以上会議開催	990	1,078	・学校が、保護者や地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、子どもたちの健やかな成長を図る。		
					丸子							
					真田							
					武石							
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	125	学校ISO事業	○学校における環境の負荷の低減や環境保全などの活動を、職員及び児童生徒が共に取り組み、その結果を記録し、見直すシステムを構築することにより、上田市の川や山、きれいな空気を守り、更には、地球温暖化の防止を目指す。	小中学生	上田	学校教育課	・全校が学校版ISO「環境にやさしい学校づくり事業」に取り組んだ。 【主な内容】 ・省エネの推進(節電、節水等) ・ごみの分別、リサイクルの推進 ・環境美化活動の実施 など ・こどもエコガイドの活用	1,080	1,080	・「環境にやさしい学校づくり」事業を継続して実施し、子どもたちが環境保全のためにできることを学び、日常生活で実践する態度の育成に努める。		
					丸子			30	30			
					真田			0	0			
					武石			0	0			

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	126	教職員研修事業	○児童生徒の価値観の多様化と感覚の変化を受け、学校が抱える課題は大きくなってきている。直接児童生徒に接し、指導に当たる教師の資質の向上と使命感の高揚を図り、学校教育の充実に寄与する。	教職員	上田	学校教育課	・全校、全支会ごとに実施(4地域)	1,500	1,500	・継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	127	教育関係者(保育士・教員)の研修会の開催	○男女共同参画の視点に立った保育や幼児教育を推進するため、豊かな感性と人権感覚を養うための研修会を開催し保育士、教諭等の資質の向上を図る。	保育士、 教職員	上田	人権男女共同参画課	・未実施	0	0	・保育課等と情報交換をしながら実施を検討。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	128	障害児の就学指導	○心身に障害を持つ就学前児童については、幼稚園・保育園・学校の担当者と連携をとりながら障害の状況を的確に把握し、その子の心身の発達が、適切、かつ最大限に発揮される教育の場を見出し、その子が喜んで就学できるようにする。	幼保小中の 対象者	上田	学校教育課	・判定会議開催回数 8回 ・判定者数 188人 ・相談者数 273人	562	762	・就学相談の充実。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	129	学校施設等の整備	○学校は地震災害時の避難場所であり、屋内運動場の非構造部材の耐震化を平成24年度から3年間の予定で実施する。 日常的な営繕工事を計画的に実施する。	小中学生	上田	教育総務課	・屋内運動場9校9棟について、非構造部材耐震化(主に照明・天井材・ガラスの落下防止)を施工 ・営繕工事等の施設整備工事を380件実施	426,928	229,201	・屋内運動場の非構造部材の耐震化とともに、日常的な営繕工事を学校と連絡を密にして計画的に進める。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	* 計画 策定後 に新た に実施 した事 業	通学区域の弾力的運用	○通学区域の弾力的運用を図り、調整区域制度や小規模特認校制度の導入を検討します。	7歳から15 歳まで	上田	学校教育課	・保護者の共働き、心身の状況などで、柔軟に対応している。小学校16件、中学校8件	0	0	・継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	130	校長・園長合同会議	○公私立園長、小中学校長の合同会議を開催(年1回) 中学ブロックごとに現状確認や相互交流などの連携事業について協議する。 幼保小中の教職員の交流・研修会の実施。	幼保小中の 園長・校長	上田	学校教育課 子育て・子育て支援 課 保育課	・6月に開催。	0	0	・継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	131	幼年教育関係者懇談会	○子どもの連続した成長をつなぐ観点で幼保の年長児担任・主任と小学校1年生の担当・主任を対象に実施。 ○疑問点や要望、連携における課題、入学に際しての課題、交流などについて意見交換をする。	幼稚園と保育園の教職員、小学校1学年担当職員等	上田	子育て・子育て支援課 保育課 学校教育課	・幼保小の連携に関する研修会として講演会を開催した。 講師：神尾教夫先生(坂城町立村上小学校 校長) 参加者数：102名	0	50	・幼保小の連携、スタートカリキュラムの作成についての講演会を企画する。					
					丸										
					真田										
					武石										
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	132	幼年教育研究会	○幼稚園、保育園及び小学校が協力して幼年教育の向上発展について活動する。	幼稚園と保育園の教職員、小学校1学年担当職員等	上田	子育て・子育て支援課 保育課 学校教育課	・6月28日 幼年教育研究会総会・講演会を開催 ・10月25日 上田女子短期大学附属幼稚園 公開授業実施 中塩田小学校 公開授業実施 (長野県幼年教育研究会共催)	0	0	・継続して実施する。					
					丸										
					真田										
					武石										
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	133	家庭教育講座 (家庭教育セミナー) (事故予防・救急法教室) (子育て応援講座)	○家庭教育セミナー：子育てに悩みや疑問を持つ母親を対象に連続講座を開催。 ○お母さんのためのレベルアップ講座：子育ての身近なテーマについて学ぶ。 ○子育て教養講座・家庭教育充実講座・子育て応援講座を開催。	生後1ヶ月から入園前の児童	上田	中央公民館 西部公民館 城南公民館 上野が丘公民館 塩田公民館 川西公民館	(中央) ・ベビーサイン講座 24回延べ297人 ・あかちゃん広場(育児相談、ベビーピクス、ベビーヨガ等)10回延べ430人、親子210組 ・親子ふれあい広場 10回延べ381人(親子190組) ・料理教室(子育て応援講座等)5回延べ157人(親子91組) ・家庭教育セミナー 延べ175人 ・毎日が楽しくなるコーチング講座 3回延べ60人(西部) ・のびのび広場 24回 延べ989人 ・プレのびのび広場 24回 延べ660人(城南) ・親子すくすく広場：19回延べ524人(H25年度)(上野が丘) ・親子ふれあい広場 前期9回：親子13組、後期9回：親子20組(219千円) ・子育てセミナーすくすく4回親子16組(74千円) ・お母さんのための料理講座16人(大雪のため中止)(1千円)(塩田) ・親子ふれあい広場24回延べ300人 ・ママさんのための応援講座(入園準備)6人(川西) ・親子ふれあい広場 23回 延べ749人	中央 714 西部 576 城南 452 上野が丘 294 塩田 335 川西 317		・継続して実施する。					
					丸						丸 丸子公民館	・親子で遊ぼうゲーチョキパ	270	270	・継続して実施する。
					真田						真田中央公民館	・かるがもひろば 11回22組の親子	202	202	
					武石										
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	134	NP(ノーバディーズ・パーフェクト)プログラム	○育児不安を抱える親等に、だれでも完璧な親がいないことを参加者同士の話し合いのなかで気づき、不安を解消してもらうためのプログラムを実践する。	子育て中の親子	上田	子育て・子育て支援課	・育児に不安を抱える親向けプログラム 1コース 6人 ・一般の親向けプログラム 4コース 28人 ・若年層の親向けプログラム 1コース 6人 ・子育てに不安を抱える親子向けプログラム 1コース 6人	626	628	・継続					
					丸										
					真田										
					武石										

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	135	ブックスタート事業	○あかちゃんが初めて出会うのにおすすめの絵本をプレゼントし、絵本を通じて、家庭における子どもの育ち、親子ふれあいの時間づくりを支援する。 地域の特色を生かしながら、各地域の4ヶ月健診時に実施する。	0歳	上田	上田図書館	・プレゼント絵本の読み聞かせ ・絵本のプレゼント冊数 2,000冊	1534	1809	・保健担当課と協力し、健診前の広報活動を継続していく。また、健診中のスムーズな対応に努める。 ・ボランティアと協力し、健診中の絵本紹介をさらに充実させる。
					丸子	丸子図書館	・プレゼント絵本の読み聞かせ ・絵本のプレゼント冊数 324冊	318	361 (武石舎)	・PR方法を幅広くする。
					真田	真田図書館	・プレゼント絵本の読み聞かせ(6回) ・絵本のプレゼント122冊	94	115	・保健担当課と一層の連携をとり、継続実施する。 ・ボランティアの協力を得る。
					武石	武石地域教育事務所	・プレゼント絵本の読み聞かせ ・絵本のプレゼント冊数 34冊	17		・事業は丸子で実施している。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	136	家庭教育手帳・教育ノートの配布・活用	○小学校1・5年生に配布し、公民館の青少年育成懇談会等で活用(文部科学省で作成配布)。	乳幼児、 小学校1年 生及び5年 生	上田	子育て・子育て支援課	・文部科学省HP上にデータが掲載されており、その利用が可能。 * 国における冊子形式での作成及び配布事業が終了した。	0	0	・市における配布は実施しない。 ・市HPにて家庭教育手帳の利用について紹介する。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	137	子育てサポーター事業 (子育て支援事業)	○乳幼児期の子を持つ親の集う場所において、子育ての悩みや不安などの相談を受けたり、アドバイスをしながら、孤立しがちな子育てを支援するためのサポーター養成と、活動場所の提供を行なう。 ・子育てサポーターの養成 【平成21年度】【平成26年度】 138名 → 200名	子育てに関 心がある者	上田	子育て・子育て支援課	・5/30～7/18にかけて、子育てサポーター養成講座を開催。 ・新サポーター31名(累計264名)養成。	338	464	・継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	138	予防検診の実施	○小学4年・中学1年生に血液検査による生活習慣病検診を実施。	小学4年 生、 中学1年生	上田	学校教育課	(4地域) 【生活習慣病予防検診実施状況】 ・全校小学4年生:年1回、1,488人実施 ・全校中学1年生:年1回、1,379人実施	3,094	3,719	・過食、運動不足等による生活習慣病が、児童生徒にも広がっている現状を考慮し、引き続き生活習慣病検診を実施していく。あわせて生活指導を行っていく。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	139	出前講座 (命の学級)	○年齢に応じた身体的・精神的変化を知り命の大切さを伝える。	6歳以上 18歳未満	上田	市立産婦人科病院	・出前講座については、中学生を対象に助産師が7校実施した。	0	0	・看護スタッフが担当し、月1回程度の開催を目指したい。
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	139	出前講座→健康教育に分類するため No.70「乳幼児健診及び乳幼児教室」、No.88「乳幼児期から児童生徒までの食育」に統合	○子どもの事故防止等。(保健師:0歳から3歳位の乳幼児の事故防止等の講座)	全市民	上田	健康推進課				
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	140	学校支援地域本部事業の推進	○学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整え、地域住民が学校の教育活動に関わることによって、地域の絆を深め、教育力の向上を図る。 ○コーディネーターから連絡を受け、住民がボランティアとなって学校の支援活動を行うことによって、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。 ○しおだっ子応援団運営協議会の設置 ○学校支援ボランティアの活動 *平成23年度から市の単独事業として塩田中学校と塩田公民館が事務局として実施。(平成20年から平成22年まで文部科学省委託事業として生涯学習課が事務局の中心となり学校教育課と塩田公民館が連携し実施。)	小中学生 地域住民	上田	生涯学習課 塩田公民館 学校教育課	・しおだっ子応援団の活動は6年目に入り、活動に参加するボランティアの数、活動内容も変化してきた。ボランティアが学校に日常的に入ることで学校が変わってきたとの評価も高い。 ○環境ボランティア・・・参加ボランティア数延べ361人、活動日数40日 (緑化委員会4年生と位置づけ、生徒の活動を支援) ○学習ボランティア・・・参加ボランティア数延べ216人、活動日数133日 (ほぼ毎日、教員OBのボランティアが要望のあるクラスに入り、学習を支援) ○行事ボランティア・・・参加ボランティア数延べ31人 ○スポーツ文化ボランティア・・・参加ボランティア数延べ15人	128	159	・学校を地域全体で支えるしくみを、他地域でも推進できるよう、引き続き、啓発・周知していくとともに、すでに動きのある学校や地域については、活動がスムーズに進むよう支援していく。
					丸子					
					真田					
					武石					
					上田					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	141	コミュニティ・スクールへの支援	○保護者や地域住民が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを通じて、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。	小学生 地域住民	上田	学校教育課	・浦里小学校を学校運営協議会の設置校に指定した。	154	119	・学校運営協議会に対し必要に応じて助言を行うとともに、委員に対して必要な研修等を行う。 ・保護者や地域住民等の意向を学校運営に反映させていく。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	142	学校サポーターバンク	○仕事や趣味などを通じて得た知識や技術、または古くから伝わる伝統芸能・技術を身につけた地域の方々に登録していただき、小中学校の求めに応じ授業、特別活動等の場でそれらを生かしていただく。	小中学生	上田	学校教育課	【登録者数】延べ229人(団体3)(4地域) 【小学校】11校・368時間実施、50人のサポーターに依頼 【中学校】3校・51時間実施、8人のサポーターに依頼	28	30	・学校等の協力を得ながら登録者確保を図るとともに、地域の活力を学校現場へ生かしていただく重要な取り組みの一つとして、学校現場で幅広く活用できる環境整備をしていく。 ・小学校、中学校ともに活用人数、実施時間が増加している。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	新規	学校支援事業	西小学校及び第三中学校の学校支援を実施		上田	西部公民館	◆西小学校 ・清掃の時間に児童といっしょに掃除をするボランティアによるお掃除支援を 25年3月(本格的な活動は4月)から実施137人 ・25年5月から6年生を対象とした放課後の宿題サポートを実施100人 ・25年6月から発達障害児童の支援を実施(週2回、(月)・(木)の午前中に各1人)42人 ・25年度からクラブ活動の支援を実施(全9回) ◆第三中学校 第三中学校支援ボランティア養成講座「花と庭づくり教室Ⅱ」 ・24年度から学校支援ボランティア育成講座「花と庭づくり教室」(5回)を開催し、受講生が環境整備支援を実施216人	西部 24	西部 30	・継続実施

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組	
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	新規	放課後の中学生の居場所 づくり	部活動に所属したくてもできない中学生の放課後 を支援する。	中学生	上田	上野が丘公民館	(上野が丘) ・未知くさクラブ 32回2人	上野が丘 58	上野が丘 80	・継続実施	
					丸子	丸子公民館					
					真田	真田中央公民館					
					武石	武石公民館					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	143	通学合宿	○通学合宿の実施。(公民館に合宿して通学する という学校と公民館の共同生活の中で、寝食にか かわるすべてのことを仲間で行うとともに、新しい 自分を発見する機会とする。) ○スプリングキャンプの実施。(食事のメニューづく りから食材購入、就寝まで子ども達だけで行う、生 きる力養成キャンプ。)	小学校高学 年	上田	川西公民館	(川西) ・通学合宿 6月11日から3泊4日 31人	71	71	・実施予定 6月10日～13日 3泊4日、29人	
					丸子	丸子公民館					
					真田	真田中央公民館	・通学合宿8月25日から3泊4日 20人	508	508		・実施予定。 8月24日から3泊4日、20人
					武石	武石公民館					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	144	音楽交流会	○保育園、小学校、中学校の児童生徒及び地域の 音楽グループとの音楽発表を通じての交流を図 る。	全市民	上田	西部公民館 上野が丘公民館 川西公民館	(西部公民館) ・歌の交流会:1回延べ160人(西小1年生と童謡・唱歌を楽 しむ会受講生による歌の交流会) (上野が丘) ・七夕コンサート309人(24千円) ・稲倉の棚田星空コンサート180人(94千円) ・春休みおはなし広場230人(24千円) (川西) ・音楽交流会「ひびけ川西の空に」802人	西部 15 上野が丘 142 川西 54		・継続して実施する。	
					丸子	丸子公民館					
					真田	真田中央公民館					
					武石	武石公民館					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	145	子ども会育成会の育成	○全市的な事業として野外活動体験教室(川遊 び、キャンプ事業等)を実施する。また、各育成会 が実施する「休日活動体験事業」や「ふるさと発見 事業」を支援する。	小中学生	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・子ども会育成連絡協議会では、単位育成会への配分金 交付等と併せ、共同事業の実施や体験活動支援事業補助 金により、特色ある体験活動を広げる取り組みを行った。 ○加入育成会数・178 ○育成会長研修会(全8回)…参加者延べ162人 ○自然を満喫しよう(黒斑山登山)…参加者29人 ○ウグイの飼育・放流…参加者34人 ○のびのび川遊び体験教室…参加者158人 ○まちなかキャンプ…参加者48人	4,276	4,452	・共同事業は、単位育成会が地域で事 業を実施する際のモデルとなるようにす る。 ・体験活動支援事業を充実させ、特色 ある体験活動が各地域で実施されるよ うに努める。	
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	146	地域青少年育成指導者養 成事業(「野外活動リー ダー養成講座」と名称変 更)	○子ども会育成会等の青少年団体が、地域で実施 する青少年を対象とした様々な体験事業の指導者 となりうる人材を養成する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・NPO法人「やまぼうし自然学校」へ事業を委託して、地域 青少年育成指導者養成講座を実施、全4回の講座を開催 し延べ48人の参加者があった。 ・受講生のうち4人が新規にリーダーバンクに登録し、現 在18人。各育成会や学校からの要請を受けて、指導者の 派遣を行っていく。	60	120	・減少傾向である子どもたちの野外での 体験活動等の機会を増加させるため、 必要な施策を検討していく。	

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組					
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	新規	夏休みの小学生の居場所 づくり	夏休みの公民館内に地域ボランティアの指導により学習や体験活動ができる小学生の居場所をつくる	小学生	上田	上野が丘公民館	(上野が丘) ・上野が丘わいわい塾 55人	上野が丘 36	上野が丘 40	・継続実施					
					丸子	丸子公民館									
					真田	真田中央公民館									
					武石	武石公民館									
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	新規	豊殿小モデルロケット打上 げ	ロケットについて学んだ後、モデルロケットを製作し、発射させる。(豊殿小学校創立140周年事業)	小学生	上田	上野が丘公民館	(上野が丘) ・豊殿小モデルロケット打上げ 2回豊殿小6年生42人	上野が丘 12	0	・実施しない。					
					丸子	丸子公民館									
					真田	真田中央公民館									
					武石	武石公民館									
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	147	上田市レクリエーションサ ポートクラブ	○市民の軽スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るために学校、地域や職場の要請に応じて、適切なスポーツ指導員を紹介・派遣する。	全市民	上田	スポーツ推進課	・レクリエーションに特化して活動を行い、体を動かすことの楽しさを知ってもらう活動を展開しその一環として、育成会やPTA活動での軽スポーツや親子レクリエーションに指導員を派遣した。 指導員の資質向上のための研修会を開催した。	0	0	・指導員確保のためのPR活動を充実させるとともに、指導員の資質向上と派遣制度の周知に努める。					
					丸子										
					真田										
					武石										
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	148	スポーツ指導員の養成	○地域のスポーツ活動推進のためのリーダーとして、スポーツ推進委員を委嘱し、市民のスポーツ振興を図る。	全市民	上田	スポーツ推進課	・51名のスポーツ推進委員を委嘱し、各地域でのスポーツ指導や市の主催するスポーツ行事でスタッフとして活動を行った。	5,743	6,218	・スポーツ推進委員の資質向上のための研修会の充実とスポーツ推進委員会としての活動方針を明確にし、充実を図る。					
					丸子										
					真田										
					武石										
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	148	スポーツ指導者の育成	○スポーツ指導者を育成するための講習会を開催し、積極的に学校やPTAに働きかけていきます。	全市民	上田										
					丸子						丸子地域教育事務所	・市スポーツ推進課が育成するレクリエーションサポートクラブを活用し、指導者派遣を行った。 ・丸子地域スポーツ推進委員による指導者派遣を行った。	0	0	・従来通りに指導者派遣を行う中で、指導者の発掘と資質向上を目指す。
					真田						真田中央公民館				
					武石						武石地域教育事務所	・指導者の確保によりスポーツ教室等の充実が図れた ・スポーツ教室への要望等反映できた。	1,200	1,200	・指導者の質の向上を図る。 ・各種指導者の方法等統一を図る。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立し た人づくり	新規	夢の教室の開催	○各種スポーツの現役選手やOB・OGを「夢先生」として小学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行い、「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」などを講義と実技を通じて子どもたちに伝える。	小学5年生	上田	スポーツ推進課	・3小学校10クラスにおいて5名の夢先生により開催した。	831	1,500	・昨年度からの事業であり、参加校も限られていたが、今年度はより多くの小学校で実施できるように取り組む。					
					丸子										
					真田										
					武石										

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立した 人づくり	149	情報モラル教育の推進	○次世代を担う子ども達の情報活用能力や情報モラルの育成を図る。 ・情報社会に適応した情報教育 ・インターネットの安全教育	小中学生 教員	上田 丸子 真田 武石	学校教育課	・夏休み中に、教職員を対象とした情報教育に関する研修会を2日間で合計4回実施した。 ・マルチメディア情報センター主催で、教職員を対象とした情報モラル講演会を1回実施した。 ・教職員スキルアップ研修会で、情報モラルに関する研修1回実施した。	0	0	・加速していく情報化社会の中で、子ども達が安全に情報機器を活用しているよう、情報モラル教育を推進していく。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立した 人づくり	150	スイッチ・オフ運動 (心の教育推進プラン)	○テレビ、パソコン、ゲーム機、携帯電話等のスイッチを切って、家族や仲間との会話の機会や体験活動・読書の時間を増やす取組みを家庭・学校・地域社会で行う。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・市内小中学校全校に保護者宛の啓発用リーフレット「ネットやケータイの利用について」を配布。	98	227	・子どものメディア接触による影響と課題を理解し、家庭教育として取り組めるよう、地域での学習会開催、啓発チラシの配布などの啓発活動を行う。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立した 人づくり	151	子どもに及ぼす有害となる 情報に対する対策の推進	○講演会・学習会・出前講座の開催による知識の普及啓発 ○新たに有害自動販売機が設置されないように、「設置させない、利用しない、放置しない」の有害自動販売機3ない運動を推進するために、啓発チラシを全戸回覧する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・青少年育成自治会懇談会等でネットや携帯電話についての講演会を11回実施し延べ245人が参加。 ・有害図書等自動販売機を設置させてないための啓発運動として、「有害自動販売機NO運動」のチラシを11月に自治会回覧で実施。	0	0	・携帯電話、インターネット等のトラブル等を未然に防止するための知識を得られるように出前講座等の活用の呼びかけ及び関係機関作成のチラシを配布し、啓発に努める。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立した 人づくり	152	環境浄化活動	○「青少年に有害な社会環境排除県民運動」の一環として、「有害環境の実態等を把握及び調査」、「関係業界の自主規制要望活動」、「有害自動販売機NO運動」等を実施、推進するために、少年補導委員会を中心に環境チェック活動を実施する。(年3回) ○地域住民等と協力しながら、地域内の環境実態を把握、環境浄化活動を地域ぐるみで展開する。 ○有害自動販売機の撤去に向け、地権者に再契約しないように要望したり、見回り等を継続的に実施する。	青少年	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・年3回の環境チェック活動に補導委員、自治会役員含め延べ692人が参加した。 ・店舗側に健全育成協力店指定や自主規制業界団体加盟の有無を確認し、協力店指定への協力、自主規制項目を守っていただくよう依頼した。新たに16店舗が協力店として加盟になった。 ・必要に応じ店舗側に改善の要望を依頼した(成人向け雑誌等の特別コーナーの設置、販売時の年齢確認等)	0	0	・新たに有害図書等自動販売機が設置されないように、「設置させない、利用しない、放置しない」の有害自動販売機3ない運動を継続して実施していく。 ・地区内の環境を巡回調査し、実態を把握する。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立した 人づくり	153	街頭補導活動	○少年補導委員会を中心に毎月、地域の街頭補導活動(青少年への声かけ運動)等を実施する。(月1回)	青少年	上田 丸子 真田 武石	生涯学習課	・少年補導委員会46班が毎月1回程度、計画的に地区内の巡回補導を行った。(延日数537日、延人数1,885人、補導少年数2人)	5,817	7,103	・青少年への声かけ運動を中心に街頭補導活動等を実施する。 ・「地域の子どもは地域で守り育てる」ために、一日補導活動等により地域の大人に地域の社会環境を知ってもらう機会を設ける。
Ⅲ 次代へ つなぐ心豊 かな自立した 人づくり	154	駅前パトロール	○上田駅前お城口、温泉口のロータリーを中心として、暴走族メンバーやギャラリーを初期的段階から排除して暴走族をい集させないために、路上等にたむろする青少年への声かけと中心としたパトロールを行う。 暴走族等対策会議構成団体による駅周辺の安全パトロール ・毎週金、土曜日 19:30～20:30 実施。	青少年	上田 丸子 真田 武石	生活環境課	・4月～10月の間実施 30回延べ677人 祇園祭、わっしょいでいずれも市職員等約60人、警察約74人動員でパトロール実施	0	0	・継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	155	市営住宅「優先入居枠制度」	○母子・父子及び多子世帯を含む優先申込世帯は、一般の入居より抽選回数及び抽選倍率を有利に取り扱っている。	○母子父子：最後の子どもが20歳未満 ○多子：18歳未満3人以上	上田 丸子 真田 武石	住宅課	・優先枠の利用により、募集戸数全体に占める母子・父子世帯の新規入居は全体の28%となっている。 <参考> H25年度 市営住宅母子世帯の入居状況 ・募集戸数：59戸 ・母子世帯申込戸数：31戸 ・母子世帯入居戸数：17戸	0	0	・母子・父子世帯及び多子世帯の安定した住宅供給のため、入居修繕を円滑に行い、少しでも多くの市営住宅の募集がかけられるよう努力していく。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	156	シックハウス対策	○公共建築物のシックハウス対策を進める。		上田 丸子 真田 武石	建築課	・法制化されており、整備が義務付けられている。	0	0	・法的に義務付けられているため、特別な取り組みは必要ない。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	157	安心して遊べる身近な公園整備	○児童遊園地などの公園を地域コミュニティ育成の場として、楽しみ・交流できる場となるよう活性化を図る。 ・市民1人あたりの公園面積、平成20年度末13.31㎡(都市計画区域内)を20㎡(平成30年)へ向けての公園整備を行う。		上田 丸子 真田 武石	公園緑地課 建設課 建設課 建設課	・上田城跡公園バリアフリー化整備 お堀周辺等 L=1,100m ・都市公園施設長寿命化計画策定業務 6公園	120,922	29,800	・都市公園の整備を継続して進める。 ・都市公園施設の適期の更新と修繕維持を計画的に実施するために調査を実施。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	158	遊具の修繕・リニューアル	○老朽化した、あるいは危険性のある遊具から、安全で皆が楽しく使える遊具への転換。 ・安全で楽しめる遊具へのリニューアル。		上田 丸子 真田 武石	公園緑地課 建設課 建設課	・遊具修繕 29箇所 ・遊具新設 7基	遊具修繕 1,719 整備 1,356	6,000	・遊具点検等の充実。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	159	花と緑のまちづくり推進事業	○花苗の配布・花壇整備ボランティアの育成する。		上田 丸子 真田 武石	公園緑地課 建設課 建設課 教育事務所	・花苗の配布(地域ボランティアへ花壇整備のための) 春82,296本 秋63,050本 ・花壇コンクールの実施 参加 41団体、受賞 13団体 ・花苗の配布 春55,800本 秋9,360本 ・花苗の配布 春49,720本 秋2,040本 ・花苗の配布 春8,200本	花苗配布 3,452	3,500	・花苗配布の継続。
								花苗配布 2,745	3,200	
								花苗配布 2,799	2,800	
								900	900	

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	*計画策定後に新たに実施した事業	花の種銀行	○花の種の貸し出しと講習会等の実施。	全市民	上田	公園緑地課	・会員数781人 内利用者数 162人 ・講習会開催3回	45	No159予算3,500千円の中で	・花の種の貸し出し 口座開設目標 780名以上
					丸子					
					真田					
					武石					
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	160	バリアフリー化推進事業	○公共建築物の整備に併せ、バリアフリー化を進める。	全市民	上田	建築課	・施設の建設または、改修工事においてバリアフリー化を図っている。	0	0	・今後、整備する施設では十分配慮している。
					丸子	丸子建設課				
					真田					
					武石	武石建設課				
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	161	赤ちゃんステーション	○地域全体で安心して子育てができる環境を整えることを目的に、協力いただける商店、事業所や一部の公共施設などで、オムツ替えや授乳できるスペースを無料で提供する。	全市民	上田	子育て子育て支援課	・70箇所(H25 新規登録1箇所)	0	0	・赤ちゃんステーションの増加を図る。 利用者の声をお聞きする。
					丸子					
					真田					
					武石					
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	162	子育て世帯にやさしいトイレ整備	○公共施設の整備に併せ、子育て世帯の利用に配慮した器具等の設置及びスペース確保に努める。	全市民	上田	建築課	・公共施設のトイレには、親子で利用できる施設を設けている。	0	0	・今後、整備する施設では十分配慮している。
					丸子					
					真田					
					武石					
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	163	お気に入り公園の紹介	【平成17年度～】お気に入り公園の紹介 広報、ホームページ等。	全市民	上田	子育て・子育て支援課 公園緑地課	・公園お散歩マップをホームページ上に掲載 上田地域:21箇所 丸子地域:5箇所 真田地域:4箇所 武石地域:3箇所	0	0	・継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	164	園における交通安全教室	○保育園や幼稚園において、警察や交通安全協会等の協力を得て、道路の歩き方や横断歩道の渡り方等の実践を交えて指導いただき、交通安全に対する意識の高揚を図る。	園児及び保育園・幼稚園職員	上田	保育課	・交通安全教室 全園で実施	0	0	・継続して実施する。
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	165	子どもに対する交通安全教育	○子どもに対し、警察や交通安全教育支援団体と連携した交通安全教室を反復実施し、「自分の身は自分で守る」意識を醸成させる。毎年100回を目安として実施。 ・交通安全と歩行の基本習得。(幼児～) ・歩行安全と自転車の安全利用。(小学校～) ・自転車の安全利用。(中学生～) ・交通安全教室。	幼稚園・保育園児、小中学生	上田	生活環境課 保育課、保育園 学校教育課	・子どもの交通安全教育活動を中心に活動している、「交通安全教育支援センター」、「長野県自動車店協会」等と協働して、幼稚園・保育園・小学校での交通安全教室を4月から11月までの間に101回実施した。 (丸子:17回 真田:15回 武石:3回)	0	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子地域教育事務所 丸子市民生活課		0	0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課		0	0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課 武石地域教育事務所		0	0	・継続して実施する。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	子どもに対する交通安全教育(自治会単位による交通安全教室)	○より細かい安全教育を推進するためモデル地域を指定し、自治会単位における児童・生徒に対する交通安全教室を実施する。 ・公民館・分館行事・育成会行事にあわせて地域での交通安全教室を開催する。	小中学生	上田	生活環境課	・子ども・児童が関係する交通事故が発生した地域において、警察や自治会と合同で街頭指導活動を実施した。また、子どもが集まる地域行事で交通安全を呼びかけてもらうよう、自治会役員等に協力依頼した。	0	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課		0	0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課		0	0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課		0	0	・継続して実施する。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	166	保護者に対する交通安全教室	○子どもを交通事故から守るため、幼稚園・保育園等を対象とした親子交通安全教室等、乳幼児の保護者が集まる機会において、保護者として自覚を持たせ高める啓発活動や、シートベルト・チャイルドシートの着用率向上に向けた講習を実施する。 毎年50回を目安として実施する。 ・親子交通安全教室。	保育園児と小学生の保護者	上田	生活環境課 保育課、保育園	・小学校・保育園で行った交通安全教室のうち、43回に保護者の参加を求め、保護者の交通安全意識向上を図った。 (丸子:10回 真田:6回 武石:1回)	0	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子地域教育事務所 丸子市民生活課		0	0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課		0	0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課 武石地域教育事務所		0	0	・継続して実施する。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	167	高齢者に対する交通安全教室	○孫世代にあたる子どもを交通事故から守るため、出前講座等における高齢者交通安全教室の機会において自身の交通安全のほかに地域居住の子どもたちへの交通安全指導の啓発や、シートベルト・チャイルドシートの着用率向上に向けた講習を実施する。 ・高齢者交通安全出前講座。 【平成21年度】年間5回⇒【平成25年度】15回以上	高齢者	上田	生活環境課	・3回実施した高齢者向け出前講座の際には、自らの交通安全のみならず、地域の子どものための交通安全指導への協力を求めた。	0	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課		0	0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課		0	0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課		0	0	・継続して実施する。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	交通安全対策専門担当の設置	○交通安全施策の推進のため、体制整備時において警察官による交通安全対策専門担当を設置し、交通事故防止対策を推進。	全市民	上田	生活環境課	・生活環境課に県警からの出向警察官を配置し、交通指導員等への指導を通じて業務改善とレベルアップを図り、交通事故防止対策を継続推進した。	0	0	・継続して実施する。
					丸子			0	0	
					真田			0	0	
					武石			0	0	

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
Ⅳ 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	168	自主防犯体制の整備 (犯研修会等の実施)	○防犯指導院を中心とした、効果的な防犯パトロールの推進を図る。 ・自主防犯意識に基づく体制の整備。 ・防犯ベスト等の配布。 ・地区単位の防犯協議会の設立支援。 ・自主防犯ボランティアの活動支援。	全市民	上田	生活環境課	・7月5日、防犯指導員研修会を開催するとともに、防犯協会会員を対象とした自治会単位等の研修会を年間7回実施した。また、千本桜まつり実施期間中の防犯パトロールをはじめ、自治会内の防犯パトロール及び青パトによる通学路パトロールを通年実施して、犯罪抑止に努めた。	0	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子地域教育事務所 丸子市民生活課	・防犯指導員研修会に参加。 ・自治会内の防犯パトロール及び青パトによる通学路パトロールを通年実施して、犯罪抑止に努めた。	0	0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課	・防犯指導員研修会に参加。 ・自治会内の防犯パトロール及び青パトによる通学路パトロールを通年実施して、犯罪抑止に努めた。	0	0	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課	・防犯指導員研修会に参加。 ・自治会内の防犯パトロール及び青パトによる通学路パトロールを通年実施して、犯罪抑止に努めた。	0	0	・継続して実施する。
Ⅳ 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	169	自主防犯意識の醸成 (防犯意識の高揚・啓発活動)	○地域住民自らが地域を守る、安全で安心な地域づくりを推進する。 ・広報啓発活動の推進。 ・防犯研修会、出前講座の開催。	全市民	上田	生活環境課	・出前講座を年間13回開催した。 年間4回の防犯広報紙を発行するとともに、有線放送などを通じて広報・啓発に努め、防犯意識の高揚を図った。	0	0	・継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課 住宅課	・防犯広報紙を発行するとともに、有線放送などを通じて広報・啓発に努め、防犯意識の高揚を図った。 ・依田窪防犯協会連合会と連携した活動を行った。	0	0	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課	・講演会を開催するとともに、防犯広報紙の発行や有線放送などを通じて広報・啓発に努め、防犯意識の高揚を図った。	0	0	
					武石	武石市民生活課	・防犯広報紙を発行するとともに、有線放送などを通じて広報・啓発に努め、防犯意識の高揚を図った。 ・依田窪防犯協会連合会と連携した活動を行った。	0	0	・継続して実施する。
Ⅳ 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	170	通学路安全点検ヒヤリマップの作成	○各小学校、自治会単位による通学路の安全点検を実施し、危険箇所の確認、改善に向けた対策を講じていく。小学校8校で交通安全マップを作成して保護者へも周知しているが、関係者が参加して、現地を実際に確認することも実施したい。また、マップ未作成の学校は、作成の推進をしたい。 ・小学校による通学路点検の安全点検を実施し、危険箇所の確認とマップ作成により、児童に対する危険箇所の周知と意識の高揚を図り、交通事故及び犯罪の防止を図る。	小学生	上田	学校教育課 生活環境課	・市内全小中学校で、通学路の安全点検を実施。 ・市内の小学校全25校において安全マップを作成しており、周知徹底させ交通事故防止に活用している。	0	0	・作成した安全マップの見直しを随時行ない、危険箇所等を保護者に周知するとともに改善を行う。
					丸子					
					真田					
					武石					
Ⅳ 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	171	園の安全管理対策	○保育園や幼稚園において、各種訓練やCAPプログラムを実施するとともに、地域住民との連携を進めることにより、防犯体制の充実を図る。 ・教職員、保育士を始めとした関係者の防犯訓練の強化 ・園児自身の防犯意識の高揚・防犯訓練の強化 ・地域・近所との協力・連携による防犯体制の強化 ・保護者の防犯意識の高揚の推進 ・各園に防犯スプレー等の配置	園児及び保育園・幼稚園職員	上田	保育課	・防犯訓練、避難訓練等を公立全国で実施 CAPワークショップ 2園	142	162	継続
					丸子					
					真田					
					武石					

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組	
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	172	学校の安全管理対策	○警察署などの協力により不審者対応講習会を開催したり、各学校において防犯対応の手順や各教員の役割、関係機関との連絡体制等を定めた「学校安全マニュアル」の全校策定をすすめる。学区内・登下校時は、地域と連携した取組を実施して子どもの安全確保を目指す。 ・教職員、保育士を始めとした関係者の防犯訓練の強化 ・園児・児童・生徒自身の防犯意識の高揚・防犯訓練の強化。 ・地域・近所との協力・連携による防犯体制の強化。 ・保護者の防犯意識の高揚の推進。	小中学生及び教職員	上田	学校教育課	(4地域) ・市内25小学校区のうち22小学校区に「見守り隊」が結成され、他の3小学校区でもPTA等地域の協力により見守り活動を行っていただいた。 ・市から委嘱された交通指導員に、小学校周辺の交通安全誘導を行っていただいた。 ・緊急時等の避難場所として、市内約1,130件に「子どもを守る安全の家」として協力いただいた。 ・スクールサポーターや防犯協会による学校周辺の巡視を定期的に実施していただいた。必要に応じて教職員もパトロールを行った。 ・市職員が、青色回転灯パトロール車による下校時のパトロールを、原則、毎日行っている。	78	122	・市内においても児童・生徒の登下校時の不審者による「つきまとい」や「声かけ」事案等が多発していることから、現在行っている「見守り隊」、「子どもを守る安心の家」、「青色回転灯パトロール」等の活動を強化し、学校、保護者、地域とが一体となって、児童生徒の安全確保のための活動を充実させていく。	
					丸子						
					真田						
					武石						
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	173	子ども見守り活動の充実(街頭における交通指導活動)	○通学路の主要箇所に通交通指導員を配置し、子どもの交通事故防止に向けたドライバーの安全意識の啓発と、子どもに対する安全教育活動を実施する。 ・上田市交通指導員会、上田交通安全協会、依田窪交通安全協会の協力を得て、街頭指導活動の推進。	小中学生	上田	生活環境課	・上田地域交通指導員、依田窪交通安全協会の協力のもと、地元小学校の学路における交通指導を実施した。	0	0	・継続して実施する。	
					丸子			丸子市民生活課	0		0
					真田			真田市民生活課	0		0
					武石			武石市民生活課	0		0
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	173	子ども見守り活動の充実(被害弱者に対する保護活動)	OPTAや地域住民、学校、警察、防犯協会等が連携し、「学校周辺のパトロール活動」を実施するなど被害弱者への保護防犯活動を行う。	小中学生	上田	生活環境課 学校教育課	・市役所安全パトロール隊による通学路パトロールを通年実施して、下校時間帯の通学路及び学校周辺における安全を確保した。 ・丸子地域内全小学校(4校)で、地域住民(みまもり隊等)による登下校時間帯のパトロールを実施。市担当職員による青色防犯パトロールを実施した。 ・市担当職員による青色防犯パトロールを実施した。 ・市担当職員による青色防犯パトロールを実施した。	0	0	・継続して実施する。 ・継続して実施する。 ・継続して実施する。	
					丸子			丸子市民生活課	0		0
					真田			真田市民生活課	0		0
					武石			武石市民生活課	0		0
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	173	子ども見守り活動の充実(子どもを守る『安心の家』の充実)	○いざという時に活用される「安心の家」の充実・「安心の家」の人と児童、生徒との顔合わせ、交流を行う等 ・ガソリンスタンド、郵便局の地域担当の方との顔合わせの機会を作る ・保護者や地域における「安心の家」に対する意識の高揚。	小中学生	上田	生活環境課 学校教育課 保育課	・上田市防犯協会、上小防犯協会連合会、依田窪防犯協会連合会と連携して、安心の家ののぼり旗の購入を支援した。	0	0	・継続して実施する。	
					丸子						
					真田						
					武石						
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	173	子ども見守り活動の充実(青色回転灯パトロールカーの導入)	○平日午後3時から5時まで子どもたちの安全確保のため、市内全域をパトロール。 ・防犯のための安全パトロールの強化。 ・交通安全パトロールの推進。	全市民	上田	生活環境課	・市役所安全パトロール隊による青色防犯パトロールを通年実施した。 ・市担当職員による青色防犯パトロールを通年実施した。 ・市担当職員による青色防犯パトロールを通年実施した。 ・市担当職員による青色防犯パトロールを通年実施した。	0	0	・継続して実施する。	
					丸子			丸子市民生活課	0		0
					真田			真田市民生活課	0		0
					武石			武石市民生活課	0		0

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	174	学校における防犯訓練	○警察署等の協力を得て、不審者等の侵入を想定した学校関係者全体の防犯訓練を数校で実施しているが、今後は全小中学校での取組みを目指す。	小中学生	上田	学校教育課	・(4地域) 市内全小中学校で、防犯訓練や自分の身は自分で守るための防犯教育を実施している。	0	0	○警察や防犯協会等の協力により、不審者等の侵入を想定した学校関係者全体の防犯訓練を全校で実施していくよう指導していく。
					丸子					
					真田					
					武石					
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	175	市道の整備、維持・管理(コロボタ大作戦)	○区画線・ガードレール・カーブミラー設置等安全対策及び市道の整備、除雪等を含む市道の維持管理の実施 ・信号機の設置・横断歩道の設置・歩道の整備・街路灯の設置。	全市民	上田	土木課 管理課	・歩道設置L=1051.3m ・除融雪L=251.2km	189,926		・歩道設置路線の事業推進を図る 黒坪長島線 小島手塚線 踏入大屋
					丸子	丸子建設課	・除融雪 L=99.2km ・フェンス・ガードレール等L=349.7m	72,627		・歩道設置路線(中丸子22号線)の事業推進を図る。
					真田	真田建設課 真田市民生活課	・道路改良(歩道設置L=176m) ・除融雪 L=74km	64,960		・歩道設置路線の事業推進を図る 燕線
					武石	武石建設課	・歩道除雪 L=5.1km ・安心して歩ける歩道空間(カラー舗装) L=910m	2,702		・園児・児童・生徒の安全確保を重視した維持管理に努める。
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	176	非常通報装置の整備(保育所、幼稚園)	○非常通報装置の保守管理を行い、万が一の非常事態に備える。 緊急時に押しボタンで警察に繋がる通報装置の保守管理 ・非常通報装置の整備・非常用内線電話の整備の推進 ・園児・児童・生徒自身の防犯意識の高揚・防犯訓練の強化	保育園及び幼稚園職員	上田	保育課	公立保育園15園 公立幼稚園2園	536	551	継続
					丸子					
					真田					
					武石					
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	177	非常用内線電話の整備	○緊急時に校内への指示連絡を迅速に行うための内線電話を主な教室に設置。 ・非常通報装置の整備・非常用内線電話の整備の推進。	小中学校、児童・生徒	上田	教育総務課	・設置なし	0	0	○学校からの要望等に応じて、設置について検討する。
					丸子					
					真田					
					武石					
IV 子どもが安全で安心して暮らせるやさしいまちづくり	178	防犯灯の整備支援	○犯罪の発生を防ぐまちづくりを推進するため、自治会で設置管理する防犯灯の新設及び電気料金の補助を実施する。	全市民	上田	生活環境課	・年間133基の防犯灯新設整備補助を実施した。	4,023	4,890	・継続して実施する。
					丸子	丸子市民生活課	・年間19基の防犯灯新設整備補助を実施した。	603	1,278	・継続して実施する。
					真田	真田市民生活課	・年間18基の防犯灯新設整備補助を実施した。	532	780	・継続して実施する。
					武石	武石市民生活課	・年間3基の防犯灯新設整備補助を実施した。	87	184	・継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	179	ワーク・ライフ・バランスの推進(労働者への働きかけ)	○市内の企業で働く父親の育児参加の必要性の啓発、及び育児休業や労働時間短縮措置を取ることの啓発活動。	労働者	上田	雇用促進室	・リーフレット等で広報	0	0	○ワーク・ライフ・バランスの推進により、雇用主への父親の育児参加の必要性の啓発
					丸子	丸子産業観光課	・リーフレット等で広報	0	0	
					真田	真田産業観光課	・リーフレット等で広報	0	0	
					武石	武石産業観光課	・リーフレット等で広報	0	0	

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	180	企業等への訪問講座 (地域・事業所内における「父親のための育児教室」の開催) * NO37の関連事業	○父親の子育て参加を促進するため、地域や事業所へ出向いて父親のための育児講座の開催(年5回) ○子育て家族応援事業実行委員会で父親向けの「ステキなパパになりたい人のための講座」を開催。	労働者	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・ステキなパパになりたい人のための講座 4回 172人(5回中1回は雪のため中止) ・企業向け出前講座 1回(シナノケンシ) 20人	0	0	・継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	181	ワーク・ライフ・バランスの推進 (事業主への働きかけ)	○市内の企業等の事業主へ、従業員が育児と仕事が両立できるような制度整備や措置を行なうことへの啓発活動。	事業主	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室 丸子産業観光課 真田 真田産業観光課 武石 武石産業観光課	・リーフレット等で広報	0	0	・ワーク・ライフ・バランスの推進により、雇用主への父親の育児参加の必要性の啓発
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	182	「社員の子育て応援宣言！」への登録の推進	○企業・事業所のトップの方から、従業員が仕事と子育ての両立ができるような、「働きやすい職場環境づくり」の取組を宣言してもらう制度。 * 長野県事業	事業主	上田 丸子 真田 武石	子育て子育て支援課	・377社登録(市内48社)			・事業主よりの登録相談があった際に随時対応する
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	183	男女共同参画啓発事業	○家庭における男女の性別役割分担意識を解消するため、啓発活動や、学習機会を提供することにより男女共同参画を促進する。 ・さんかく講座。 ・さんかくセミナー。 ・市民フェスティバル。	全市民	上田 丸子 真田 武石	人権男女共同参画課 丸子 丸子市民生活課 真田 真田市民生活課 武石 武石市民生活課	・出前講座3講座(企業1+団体2) 72名参加 講座5講座 128名参加 ・映画会1回開催 526名参加 ・シルキーフォーラム1回開催 30名参加 ・男女共同参画講演会 34名参加 ・男女共同参画講演会1回開催 20名参加	364 428 12 11	364 428 12 11	・第2次上田市男女共同参画計画に基づき、内容を検討。 ・映画会は毎回好評のため継続して上映を実施予定 ・継続して実施する。 継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	184	男女共同参画推進事業者表彰	○男女共同参画の推進に関する取組を積極的に行なっている個人・法人・各種団体に対し表彰する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	人権男女共同参画課	・事業者表彰1法人+2自治会表彰	0	0	・表彰された先進事例を市民に紹介することに力を入れていく。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	185	仕事の探し方講座	○就職活動についてのノウハウ取得講座を開催。	中学生・高校生	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	高校出前講座 ・さくら国際高校2回 参加人数56人 大学生等の就職支援講座 ・5回 参加人数41人	0	0	・継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	186	能力開発のための講座	○男女協働参画の視点を持って、社会の幅広い分野に参画する女性の能力・技術向上(エンパワメント)を目的とした講座や研修会を開催(年1回)エンパワメント講座(能力開発)の充実。	全市民	上田 丸子 真田 武石	人権男女共同参画課	マインドアップ講座 8講座 487名参加	297	297	・市民ニーズや第2次上田市男女共同参画計画に基づいて実施予定。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	187	資格取得のための講座	○再就職支援講座を開催し、子育てや介護によりいったん仕事を退職しても、再び就業できるよう学習の機会を充実する。	全市民	上田 丸子 真田 武石	人権男女共同参画課	・日商簿記資格取得準備講座 全23回 368名参加 ・アロマセラピー2級検定取得講座 全6回 133名参加 ・ファイナンシャル・プランニング技能士3級 全10回 168名参加 ・就職・起業準備講座 4講座 355人	521	521	・市民ニーズや第2次上田市男女共同参画計画に基づいて実施予定。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	188	子育て支援資金	○長野県の「社員の子育て応援宣言!」に登録された事業者又は「ながの子ども・子育て応援県民会議」が行う「ながの子育て家庭優待パスポート事業」に協賛いただいている事業者に対して運転資金等を融資する。	事業者	上田 丸子 真田 武石	商工課	・融資件数 0件	融資金額 0千円		・厳しい経済情勢の中、不況対策関係の資金に利用が集中している状況です。 ・中小企業者のニーズや関係機関の意見を踏まえながら、制度融資全体の枠組みの中で、金利引き下げなどの条件緩和や内容の見直しに随時取り組んでまいります。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	189	インターシップ事業	○高校・大学生等の職場体験事業実施。	高校・大学生	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・高校生202人 大学生等23人 合計225名	(上田職業安定協会への負担金) 557		・継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	190	就職相談	○駅前ビル内パレオ職業相談室に相談員1名を配置し相談。	15歳から34歳まで	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室				
		事業終了								

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	女性の再就職の場の拡大	○ハローワークと協働し、支援のための情報提供を行う。	全市民	上田 丸子 真田 武石	情報ライブラリー	・情報提供については、図書館内に仕事・資格の応援コーナーを設置し、関係図書やパンフを配置すると共に、ハローワークの求人情報や民間企業発行の求人情報誌、ジョブカフェ信州のチラシ等を配置するなどして女性の再就職支援を行っている。	0	0	・継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	191	キャリアアップ講座	○平成17年度に開催した「女性のキャリアアップ支援セミナー」に参加したメンバー、情報ライブラリーと協働で女性の起業や仕事に活かす講座を開催。(年1回)	全市民	上田 丸子 真田 武石	情報ライブラリー	・女性のキャリアアップ支援セミナーを11月7日に実施、36人の参加あり。	8	8	・継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	192	事業所見学	○上田職業安定協会・ハローワーク等と連携して高校生の事業所見学を実施。	高校生	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・上田高校ほか17校、参加生徒261人	(上田職業安定協会への補助金を含む) 97		・継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	193	就職面接会の実施	○高校、大学等学卒者及び既卒3年以内の者を対象に、上田地域企業との就職面接会を開催。	就職予定学生、既卒3年以内の学卒者	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・就職面接会・ガイダンス 5回開催 ・学卒者等 816人、参加事業所317社	(上田職業安定協会への負担金を含む) 1,080		就職面接会・ガイダンス計4回開催予定
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	194	就職に関する情報の提供	○学卒者向け企業紹介冊子の作成、配布。 ○ハローワーク求人情報の掲示。	就職予定学生、既卒3年以内の学卒者	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・企業ガイドUEDA 4,000冊作成、配布	(上田職業安定協会への補助金を含む) 1,477		・企業ガイドUEDA 作成予定4,000冊
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	195	就職・職業に悩む若者の保護者対象個別相談会	○就職する気持ちなかつたり、就職する気持ちはあるもののなかなか就職にいたらない子どもをお持ちの保護者対象相談会を開催。	概ね35歳まで	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・相談者48人	360		・継続して実施する。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	196	若者サポートステーションにおける臨床心理士にカウンセリング委託	○就労支援を受けに若者サポートステーション・シナノにくる若者のうち、障害等を抱えていると見られる者を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施。	概ね35歳まで	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・相談者15人	360		・継続して実施する。
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	197	地域における若者支援のための体制整備モデル事業 事業終了	○内閣府が全国14地区で実施する「地域における若者支援のための体制整備モデル事業」を実施する。 ・地域企画委員会の開催。(年3回) ・ユースアドバイザー一定例会議及び講習会の開催。 ・青少年に社会的自立の遅れに対する立ち直りの支援の充実強化と関係機関のネットワークを通じた支援対象者への適切な自立支援を行うため	乳幼児期から30代まで	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室				
V 職業生活と家庭生活が両立できるまちづくり	* 計画策定後に新たに実施した事業	若者就職意識啓発事業	○就職活動をしなくてもなかなか就職に結びつかない若者や、学卒で就職しても長続きしない若者が増えていることから、フォーラム、セミナーにより、仕事をすることにあたっての意識啓発を促す。 ・学生を対象に、就職への意識啓発を目的とした就職支援フォーラムを開催。 ・ニート・フリーターを対象に、就職への意識啓発、就職活動についてのノウハウ取得講座を開催。	概ね大学生から30代まで	上田 丸子 真田 武石	雇用促進室	・就職支援フォーラム 294人 ・若年者就職支援セミナー 開催7回、参加146人	(就職支援フォーラム) 300		・就職支援フォーラムを上田地域産業展に併せ開催予定。 ・若年者就職支援セミナー継続開催
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	198	要保護児童対策地域会議	○児童福祉法の一部改正が行われ、「要保護児童対策地域協議会」の平成19年度設置に向けて協議。 ・上田市虐待防止ネットワークの設立。【平成17年度】 ・事例研究・研究会等関係者の資質の向上。【平成24年度】学習会・研究会の開催3回/年 ・市民への虐待についての知識の普及・啓発。【新規】【平成24年度】講演会の開催1回/年 ・地域の体制整備。	職員等	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課 丸子健康福祉課 丸子地域教育事務所 真田健康福祉課 真田地域教育事務所 武石健康福祉課 武石地域教育事務所	・要保護児童対策地域協議会代表者会議委員23名代表者会議2回開催 実務者会議2回開催 個別支援会議随時開催 ・児童虐待防止の取組 ・児童虐待防止講演会の開催(H25.11.2) ハイリスク家庭の把握(こんこちは・赤ちゃん訪問事業の実施) ・地域子育て支援である広場事業の充実 ・子育て短期支援事業の実施 ・要保護児童夜間支援事業の実施	31	46	・要保護児童対策地域協議会の構成機関との連携、要保護児童の早期発見、適切な保護。 ・要保護児童夜間支援事業の実施。 ・養育に欠ける児童の保護を目的とし、夜間、休日に家庭での養育が困難となった場合、実施施設において保護し生活指導、食事の提供を行い、要保護家庭の立ち直りを支援する。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	199	児童虐待防止講演会	○市民への虐待についての知識の普及・啓発。【平成23年度】講演会の開催1回/年 ・地域の体制整備。	全市民	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・虐待防止講演会の開催(H25.11.2) 92名参加			・継続して実施する。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	200	家庭児童相談事業	○児童相談、児童虐待通告、児童のさまざまな問題に対する相談・指導。 ○家庭児童相談員等を始めとする相談員及び保育園・幼稚園・学校等、日頃乳幼児及び児童生徒に接する時間の多い関係機関職員の、虐待に対する知識や対応方法についての研修会の開催。	18歳未満の児童を養育している家庭等	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・家庭児童相談 延338件 ・虐待予防講演会の開催	0	0	・要保護児童対策地域協議会の構成機関と連携を図りながら、相談体制の充実や個別ケースの対応内容の把握、情報共有。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	201	要保護児童夜間支援 *夜間型一時保育(トワイライトステイ)	○夜間、土日、養育にかける児童を実施施設に保護し生活指導、食事の提供等。	概ね2歳から小学校6年生まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・延べ1人 6時間	6	249	・仕事と子育ての両立を目的に夜間一時保育を実施。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	202	CAPプログラムの推進	○子ども自身がさまざまな暴力から自分を守る力を持っていることに気づき、その力を発揮できるようにサポートすることを目的としたプログラムを実施する。		上田 丸子 真田 武石	学校教育課 保育課	・市内の小学校1校、中学校1校において、CAPプログラムを実施した。	207	320	・継続して実施する。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	203	ひとり親家庭相談事業	○ひとり親家庭・寡婦の生活相談及び自立に必要な助言・指導、女性相談、DV相談及び対応。		上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・女性相談 来所 延438件 電話 延560件 ・母子・父子・寡婦家庭相談 延1,475件 ・DV相談 来所 延76件 電話 延251件	4,001	4,001	・ひとり親家庭・寡婦等の自立支援に向け案内や相談の実施。相談者の現状の把握と適切なアドバイス。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	204	母子・父子家庭自立支援・就業支援事業	○能力開発のために受講した教育訓練講座受講料に対する補助。 ○ひとり親家庭(母子家庭等)に対する就業支援。(自立支援教育訓練給付金支給事業、高等職業訓練促進事業等) ○母子家庭等の資格取得に関する助成金の支給。		上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・母子家庭自立支援給付金 ※介護職員初任者研修 1名、27千円 ・高等職業訓練促進事業 ※看護師7名 准看護師9名 言語聴覚士 1名 19,861千円	19,889	16,692	・母子家庭等の自立のため安定した就労に向けた支援の実施。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	205	母子家庭高等技能訓練促進費事業	No.204「母子・父子家庭自立支援・就業支援事業」において実施			上田 丸子 真田 武石				
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	206	母子寡婦福祉資金貸付	○修学、就業、生活等に要する費用の貸付の申請・審査を実施。 *長野県事業 貸付は県が実施(県費負担)。		上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・母子寡婦福祉資金貸付申請件数8件			・母子寡婦福祉資金償還金の滞納者の増加を防ぐため貸付申請の際の適切な貸付審査と指導の実施。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	207	母子福祉団体への補助	○ひとり親家庭の交流事業などを行う、母子家庭(寡婦)の方々自身の団体(上田市母子寡婦福祉会)への補助。	母子福祉団体	真田	真田健康福祉課	・平成26年度末で団体が解散する。 ・対象事業実施しなかったため補助金交付なし。	0	0	
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	208	ひとり親家庭等日常生活支援事業	○一時的に生活援助が必要な場合、あるいは母子・父子家庭になって間もないため日常生活に支障がある場合に家庭生活支援員を派遣。 ○ひとり親家庭が育児に困らないための支援 母子家庭等日常生活支援事業。	母子寡婦父子家庭	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	・日常生活支援員派遣家庭 5件 延時間121時間	184	258	・ネグレクト家庭への派遣など、児童虐待防止の観点から事業展開を検討する。派遣ヘルパーの確保が難しくなっている。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	209	ひとり親家庭の交流	○ひとり親家庭の交流(父・母と子のつどい事業、ひとり親家庭親子教室)	ひとり親家庭	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	(父・母と子の集い事業) ・参加者数232名(大人96名 子ども136名) 行先 東京ディズニーランド (ひとり親親子教室) ・参加者数 24名(大人10名 子ども14名) 実施内容 親子で楽しむ かおり会	913	951	・ひとり親家庭の親子の交流、リフレッシュを目的として実施。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	210	発達相談センターの充実	○発達障害等で支援を必要とする子どもの成長段階に合わせて、保健・教育・福祉・医療等の関係者の連携による支援を一貫して行うことにより、発達障害の早期発見、保護者への早期支援、関係機関との連携強化など支援策の充実を図り、すべての子どもがその子らしく健やかに成長でき、学びと育ちが保障できるよう総合的に支援する。	0歳から18歳まで	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	①専門職員による発達相談 相談者数 のべ954人 ②医師による相談会 相談者数 のべ47人 ③ペアレントトレーニング(2コース)開催 のべ参加人数 74人 ④親子教室たんぽぽ 4コース開催 のべ参加親子数 201組 ⑤市民向け発達講演会開催(参加者133人)・支援者向け講演会・研修会1回ずつ(参加者91人)	3,450	6,511	・特に私立幼稚園等との連携を強化する。 ・子どもを中心に縦と横の連携が重要であり、支援ノート“つなぐ”の活用を促し、支援が継続的に行えるように今年度は啓発する。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	211	巡回児童相談	○療育手帳の判定。 ○児童発達支援の判定。	18歳未満の児童とその保護者他	上田 丸子 真田 武石	福祉課 丸子健康福祉課 真田健康福祉課 武石健康福祉課	・24回 延149人	0	0	・相談件数が増加する年度末(12月～3月)及び特別児童扶養手当再認定時期(7.11.3月)に巡回相談の回数を増やすことを検討。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	212	障害児発達相談事業	○相談を通じて保護者の気づきを促し、障害児等を早期に発見・フォローすることで正しい関わりを実現し、適切な保育、就学等に向けた子育て支援の充実を図る。 ・専門機関家による保護者の相談。	保育所に入所している児童の保護者	上田 丸子 真田 武石	保育課	・専門機関による月3回の定期的発達相談:48回・127人(発達検査も含む) ・不定期の発達相談:18回・24人	歳出 (委託料) 756	歳出 (委託料) 934	・定期的相談枠を12枠増やしたことで相談希望に対応できた。それでも不定期枠の対応が必要だった。子どもの相談に加え、母自身の子育て不安の相談件数が増えている。

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	213	障害担当保育士の配置	○障害児担当保育士を専任とし、相談・指導関係機関とのコーディネートその他、障害児保育施策を推進する。 ・保育園における発達支援の体制の充実。	発達が遅やかな子ども	上田 丸子 真田 武石	保育課	・保育課に課付保育士3名を配置。 (H23から保育士1人を増員)			・保育士3人体制での支援の充実を図る。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	214	障害児特別保育事業	○障害児保育のため、保育士の増配置。 ○障害児保育を実施するための施設設備の改善。 ○障害児保育のための遊具保育材料の購入。	発達が遅やかな子ども	上田 丸子 真田 武石	保育課	・公立33園で113人、私立7園で21人の児童を受入。 保育士の増配置は、公立68人、私立12人。保育園への貸し出し玩具を補充(10個)	歳出 (私立7園 へ補助) 10,430	歳出 (私立7園 へ補助) 10,680	・保育士全体の人数が不足の中、加配保育士の配置が課題。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	215	就学前指導	○就学に向け学校、教育委員会との連携及び保護者の相談に応じる。	未就学児 (公・私立 保育園年長 児及びその 保護者)	上田 丸子 真田 武石	保育課 学校教育課	・随時実施した。	0	0	・継続して実施する。 ・公立幼稚園と依頼があれば私立幼稚園も実施。 ・必要に応じて移行支援会議を開催し、スムーズな移行をする。
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	216	OT相談(のびのび相談)	○作業療法士による乳幼児の発達に関する個別相談・指導。	0歳から就 学前の子ど もとその親	上田 丸子 真田 武石	子育て・子育て支援課	/	/	/	/
No.210「発達相談センターの充実」に統合										
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	217	発達に関する専門職による相談	○子どもの発達や育児についての専門職種による相談	0歳から就 学前の子ど もとその保 護者	上田 丸子 真田 武石	健康推進課 健康福祉課 (健康推進係) 健康福祉課 (健康推進係) 健康福祉課 (健康推進係)	・育児相談((心理発達相談員による定期相談事業) 延人数 440人 ・心理発達相談(心理発達相談員による健診時相談事業) 延人数 139人 ・発達相談(理学療法士による相談) 延人数 35人 ・ことばの相談 延人数184人	2,900 604 83 59	2,961 537 117 83	・継続
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	218	発達支援教室	○発達支援が必要な親子のフォローと適正療育に関する支援	概ね1歳6ヶ 月から3歳 までの子ど もとその親	上田 丸子 真田 武石	健康推進課・子育て 子育て支援課・発達 相談センター 健康福祉課 (健康推進係) 健康福祉課 (健康推進係) 健康福祉課 (健康推進係)	○発達面でフォローが必要な児・母子関係に課題があると思われる親子を対象とした教室 (スタッフ: 心理発達相談員等の専門スタッフ、保健師、保育士) ・親子教室たんぽぽ(上田) 38回/年 加者人数37人 ・げんきっこクラブ(丸子) 24回/年 参加実人数17人 ○子どものかかわりが苦手、仲間造りが不得意等の課題をもつ親子の教室 ・わくわく広場 会場: 神科・中央・泉田・中丸子子育て支援センター 年間4コース・1コース6回 参加延人数 136人 ○入園前の親子等を対象に、親子や仲間との関わりを豊かにするための教室を開催する ○あそびの教室(武石) 入園前の親子の集団遊びと発達支援が必要な親子のフォロー 12回/年 参加親子人数304人	子育て 子育て支援 課予算 519	子育て 子育て支援 課予算 563	・継続
								168	168	

基本目標	事業番号	事業名	事業内容	対象年齢	地区	担当課	平成25年度実施状況	平成25年度 決算額 (千円)	平成26年度 予算額 (千円)	平成26年度への 課題・取組
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	219	ことばの相談	○言語聴覚士による、ことばの個別相談・訓練。 No.217 「発達に関する専門職による相談」に統合	概ね2歳から就学前の子どもとその保護者	上田	健康推進課	/	N0217へ	N0217へ	/
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	220	障害児者巡回指導	○歯科衛生士による巡回歯科指導	障害児通園施設通園者	上田	健康推進課	○歯科衛生士による巡回歯科指導(児・者) ・施設での実施 8回 指導人数133人 ・訪問指導 2人	96	96	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	新規	未熟児養育医療	出生時の体重が2000グラム以下であるなど、身体の発育が未熟なまま生まれたため、医師が入院を必要と認めた子どもの治療費の一部を市が負担する制度 対象者 ・1歳未満(乳児)であること ・保護者の住所が上田市内であること ・指定医療機関で医療を受けること	1歳未満	上田	健康推進課	認定者実人数45人	11747	13,007	・継続
					丸子	健康福祉課 (健康推進係)				
					真田	健康福祉課 (健康推進係)				
					武石	健康福祉課 (健康推進係)				
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	221	「発達障害の理解と支援」講演会	発達障害について、地域の課題としてみんなで学ぶ。	市民	上田	上野が丘公民館	(上野が丘) ・「発達障害の理解と支援」講演会 1回41人	上野が丘 0	上野が丘 8	・継続して実施する。
					丸子	丸子地域教育事務所				
					真田	真田中央公民館				
					武石	武石地域教育事務所				
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	221	発達障害に対する理解の普及啓発	○教職員や保育士等が、障害に対する正しい知識と理解を持つために、研修の充実を図っていきます。	保育士、教職員	上田	学校教育課 保育課	・特別支援教育支援員の連絡会を開催し、情報の共有を図った。 ・小中学校の特別支援教育コーディネーター連絡会で、情報交換や事例研究を行った。	0	0	一人ひとりのニーズに対応するため、研修の機会と情報交換の場を提供する。
					丸子	丸子学地地域教育事務所 保育課				
					真田					
					武石	武石地域教育事務所 保育課				
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	222	福祉サービス	○障害児及び保護者に対し、必要とされる福祉サービス(自立支援給付及び地域生活支援事業等)の情報提供と利用の決定を行い、障害児と保護者への支援により児童の健全育成を図る。 ・自立支援給付(居宅介護・行動援護・短期入所・児童発達支援、放課後等デイサービス等) ・地域生活支援事業(移動支援・日中一時支援・日常生活用具給付事業等)	18歳未満	上田	福祉課	①居宅介護 118件 ②行動援護 86件 ③短期入所 23件 ④児童発達支援 912件 ⑤放課後等デイサービス 164件 ⑥移動支援 116人 ⑦日中一時支援 31人 ⑧日常生活用具給付事業 306件	① 2,494 ② 7,494 ③ 3,415 ④ 142,522 ⑤ 16,654 ⑥ 53,408 ⑦ 4,817 ⑧ 3,112		・障害者手帳の該当にならない医療的ケアを要する児童(小児慢性特定疾患児等)や障害者手帳が該当になってもサービスの該当にならない(日常生活用具給付等)場合など、支援を必要としている児へ必要な支援が提供できるように、圏域単位であり方を検討。
					丸子	丸子健康福祉課				
					真田	真田健康福祉課				
					武石	武石健康福祉課				
VI 支援が必要な子どもと家庭へやさしいまちづくり	223	特別支援教育支援員の配置	○小・中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対して、学校生活でのサポートを行う特別支援教育支援員を小中学校に配置、支援の充実を図る。	小中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒	上田	学校教育課	・小学校25校、中学校10校に配置。	43,056	55,073	・学校の状況に応じて、継続して配置する。
					丸子					
					真田					
					武石					